

第5回関東甲信越ヘリテージマネージャーネットワーク会議

日時：令和8年7月11日（土） 受付：13：45～ 会議：14：00～16：30

場所：桜川市真壁伝統的建造物群保存地区内 高久家住宅(登録文化財)

茨城県桜川市真壁町真壁 191 番地

会費：会議費：1,000 円／各都県

懇親会：5,000 円／人

●受付にてお支払いください●

次第：

1. 関東甲信越 HMN 会議代表挨拶 武村 実 14：00～14：05
2. 自己紹介：対面 25 名・zoom 5 名 各自 1 分 14：05～14：35
3. 各会の活動報告：9 会 各会 3 分 14：35～15：05
4. 議題 15：05～16：30
 - ① 災害時の協力体制について：瀬戸智 20 分
 - ② 今後の模擬訓練について：大橋智子・他 10 分
(2026. 02. 16熊本地震復旧支援の取組み勉強会 次は？)
 - ③ 全国 HMN 協議会の運営委員会報告：内田美知留 10 分
 - ④ 建築学会データベースの利用に関して：金山真人 10 分
 - ⑤ 関東甲信越 HMN 会議の体制について：武村 実 15 分
(代表者の名称・決定方法・任期・新たな代表の決定 他)
 - ⑥ 各会からの質疑と応答・その他 20 分
5. 次回開催県の決定
6. 閉会

懇親会：伊勢屋旅館(登録文化財) 17：00～19：15 (19：30 までにバス乗車)

桜川市真壁町真壁 193 電話：0296-55-0176

.....

JR ご利用の方の送迎メモ

行き：東京駅11：26発 8番線 土浦行 上野東京ライナー

土浦駅12：45着 土浦駅東口でマイクロバスがお迎えします。時間厳守で願います。

帰り：懇親会終了後、行き同様マイクロバスで土浦駅までお送りします。

土浦駅20：24発 品川行 ときわ

東京駅21：13着→品川駅21：23着

第5回 関東甲信越HMN(ヘリテージマネージャーネットワーク)会議 参加者

茨城県建築士会 桜川市真壁伝統的建物保存地区内 高久家住宅(登録文化財)14:00～ 令和8年7月11日(日)

	参加者氏名	zoom会議	対面会議	懇親会	備考
新潟県建築士	瀬戸 智		1	1	自家用車
長野県建築士会	寺澤 雄治		1	1	自家用車
栃木県建築士会					
群馬県建築士	高橋 康夫 小林 禎	1	1	1	自家用車
山梨県建築士会	網野 隆明	1			
茨城県建築士会	武村 実 梶 ひろみ 眞鍋 道子 石坂 健一 高橋 文男 鈴木 孝和 若柳 綾子 古谷野 栄次	1	1 1 1 1 1 1 1	1 1 1 1 1 1	自家用車 自家用車 自家用車 自家用車 自家用車 自家用車 自家用車
埼玉県建築士	江森 輝雄 田口 隆一		1 1	1 1	自家用車 自家用車
千葉県建築士会	松本 亜古 笠西 桂一 久富 清敏 竹内 伸夫 及川 秀男		1 1 1 1 1	1 1 1 1 1	土浦駅下車 自家用車 土浦駅下車 自家用車 土浦駅下車
東京建築士会 まちづくり委員会 東京ヘリテージ マネージャーの会	大橋 智子 高橋 千里 金山 真人 前野 武彦 山崎 裕史	1	1 1 1 1	1 1 1 1	土浦駅下車 土浦駅下車 土浦駅下車 土浦駅下車
東京建築士会 まちづくり委員会	青木 伊知郎		1	1	
(一社)かながわ ヘリテージ	加部 佳治 内田 美知留 笠井 三義 村島 正章	1	1 1 1	1 1 1	土浦駅下車 土浦駅下車 神奈川建築士会
事務局	助川 義浩 黒澤 航太		1 1	1 1	自家用車 自家用車
合 計		5	27	27	

第5回 関東甲信越HMN（ヘリテージマネージャーネットワーク）会議

2. 災害時の協力体制について

2026.06.25 WEB 会議にての意見交換

東京：金山氏、神奈川：笠井氏、新潟：瀬戸

1. 災害時の連絡網と連絡体制について

（1）災害発生直後の連絡網

①既存の協定書に基づく場合

被災県建築士会

→応援県主管・副主管建築士会

→ブロック内建築士会

→東京ヘリマネ・かながわヘリマネ

②関東甲信越HMN会議で協定書等を締結した場合

被災県建築士会

→応援県主管・副主管建築士会

→ブロック内建築士会・東京ヘリマネ・かながわヘリマネ

◆②のメリット

①よりも連絡の段階が1つ削減でき、応援県主管・副主管建築士会から東京ヘリマネ・かながわヘリマネへ同時に情報の水平展開ができると考えられます。

◆②のデメリット

五者協定、関東甲信越ブロック会協定、関東甲信越HMN会協定の3本建てになり、運用面で錯綜しないか懸念されます。

（2）R6能登半島地震時の新潟県の実際の動き

「ぶんぼう」のフロー図では、レスキュー事業には現地本部の設置がありますが、ドクター事業には現地本部の設置がなく、国立文化財機構が設置した復旧支援委員会がドクターチームを編成することになっています。

しかし、実際には、担当県のヘリマネ代表が被災市文化財担当と日程調整をしながらヘリマネメンバーの方の日程調整を行い、調査スケジュールを作成しています。その調査スケジュールをもとに、調査計画と調査メンバーを建築学会有識者または建築士会HM代表者がシステムに入力して、最終的に「ぶんぼう」が承認する流れでした。

したがって、実質的には、新潟県の建築学会有識者・建築士会HM代表者・JIA新潟担当者・被災市文化財担当者・被災県文化財担当者が、現地本部を担い、「ぶんぼう」とやりとりしている状態でした。

そこで、ここでは現地本部の設置を記載したフロー図を示します。

（3）災害時の実働体制について

協定書等の書面よりも実働体制の強化が必要ではないでしょうか。

九州ブロック建築士会を講師にむかえた2月の勉強会で話が合ったように、模擬訓練を開催して日頃からの連絡体制を整えておくことで、関東甲信越HMN会の協定があってもなくても、実働できるようにしておくことの方が大事ではないでしょうか。

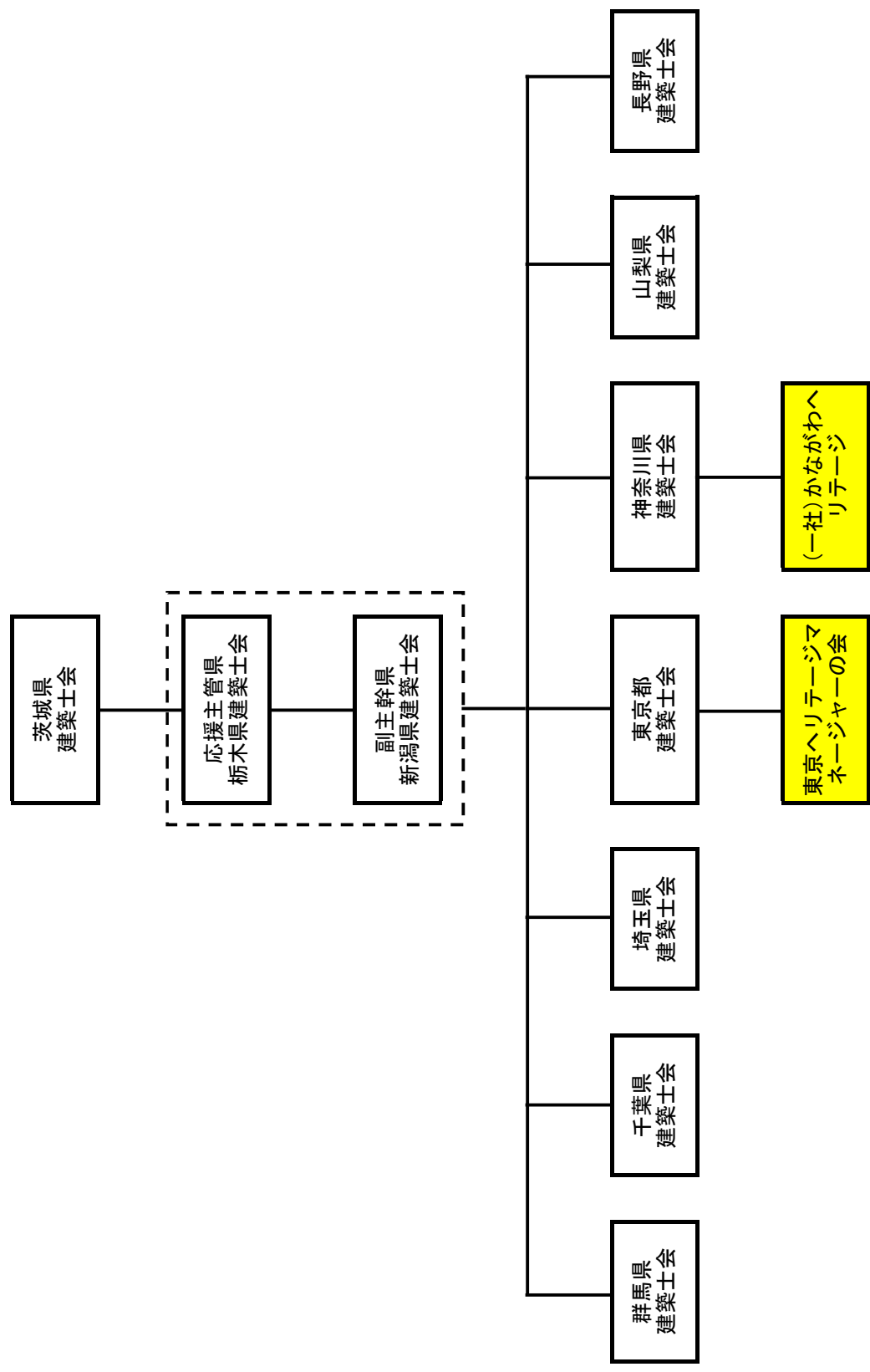
2. 隣接ブロックとの連携について

関東甲信越ブロック会協定をもとに作成した、茨城県を被災県に想定した災害時の連絡網においては、副主管県が新潟県となりますが、地理的には福島県の方が近いと考えます。

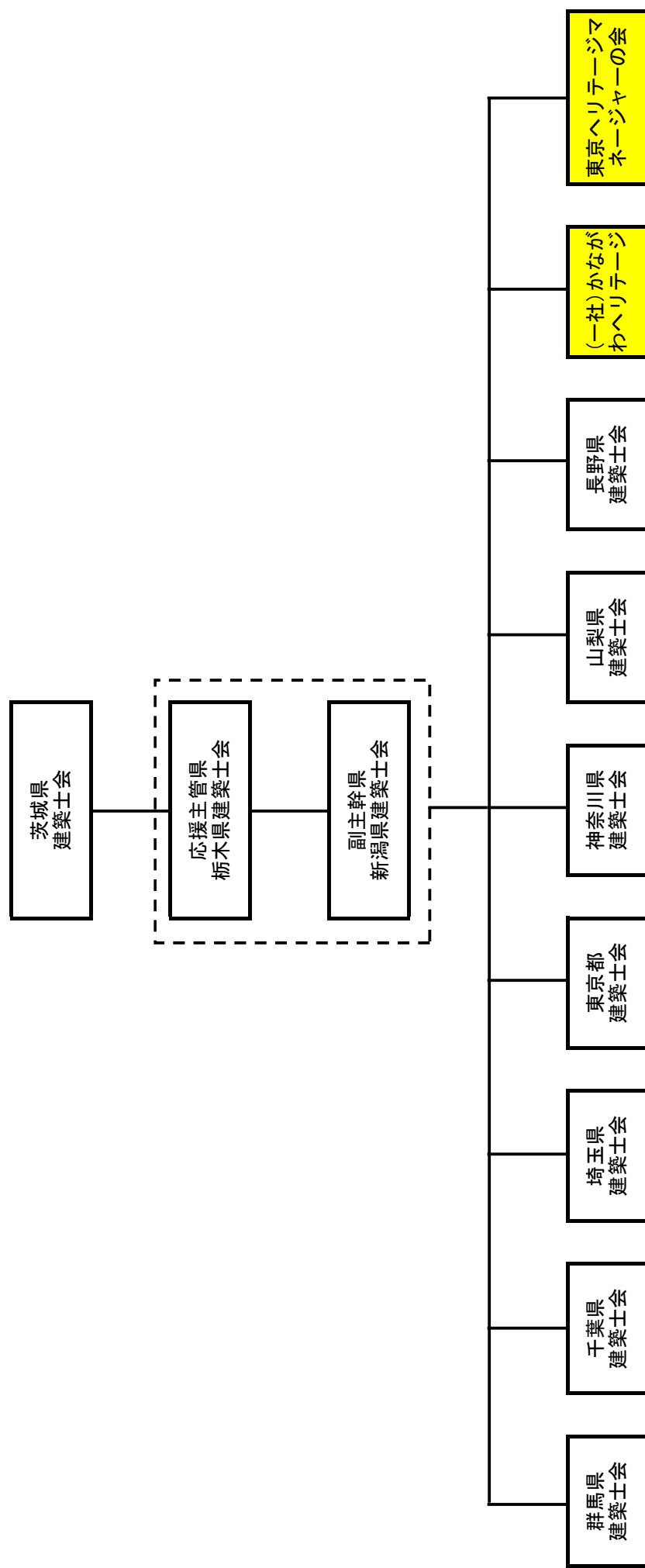
しかし、ブロック間の要請がない限り、北海道東北ブロックの福島県から関東甲信越ブロックの茨城県には応援に行けないそうです。

◆ブロックの垣根はどう考えますか？

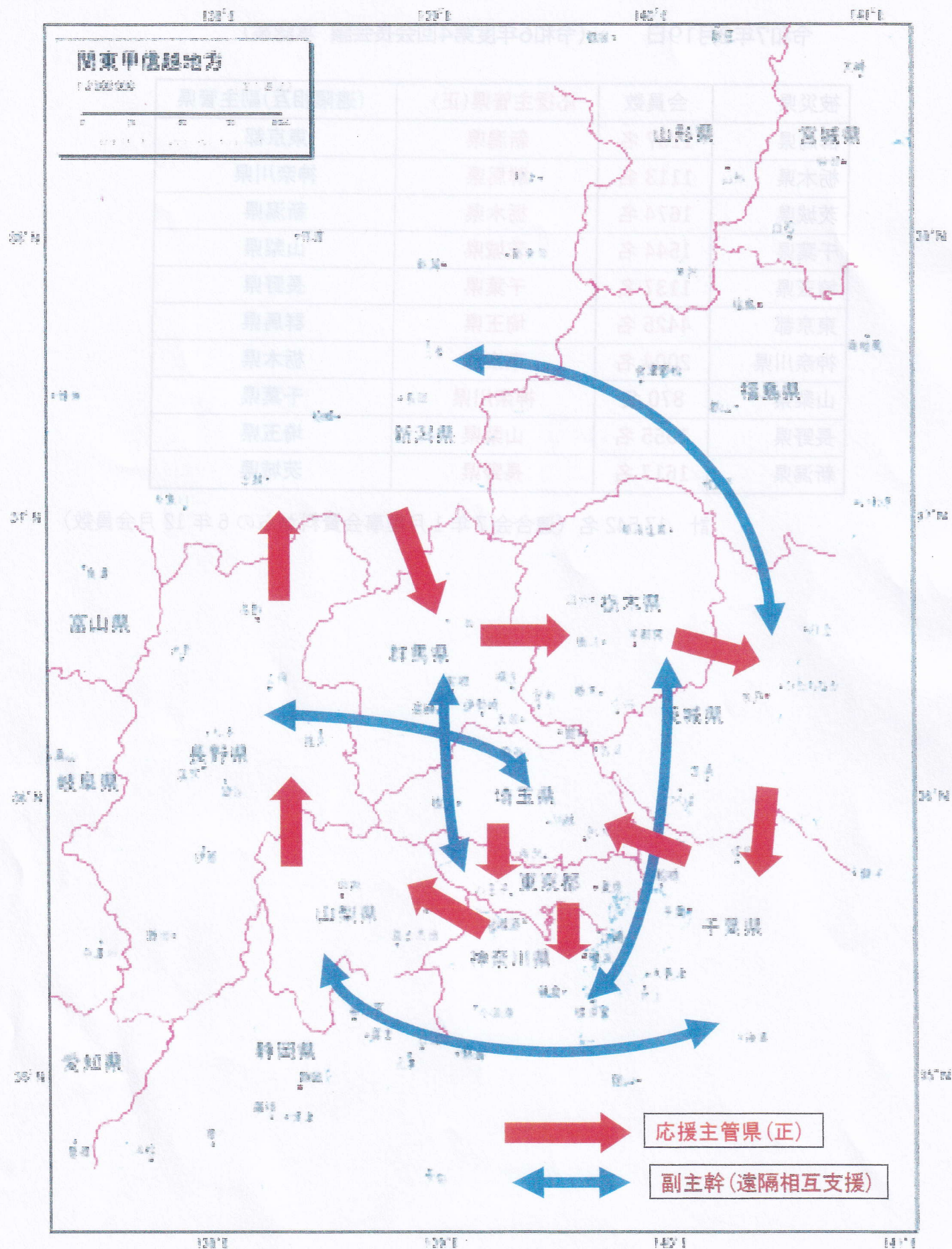
関東甲信越建築士会ブロック会災害時相互協力と、歴史的建造物被災調査等に関する協定書に基づく
茨城県が被災県となった場合のヘリテージマネージャー連絡網



関東甲信越ヘリテージマナーネットワーク会議で協定書を締結した場合の
茨城県が被災県となった場合のヘリテージマナージャーネットワーク



2025 関ブロ災害時支援正副主管士会図<正+副(遠隔相互支援)>



2025 関ブ口災害時支援正副主管士会<正(一巡)+副(遠隔相互支援)>

令和7年2月19日 (令和6年度第4回会長会議 承認案)

被災県	会員数	応援主管県(正)	(遠隔相互)副主管県
群馬県	1137 名	新潟県	東京都
栃木県	1113 名	群馬県	神奈川県
茨城県	1674 名	栃木県	新潟県
千葉県	1544 名	茨城県	山梨県
埼玉県	1137 名	千葉県	長野県
東京都	4425 名	埼玉県	群馬県
神奈川県	2004 名	東京都	栃木県
山梨県	870 名	神奈川県	千葉県
長野県	1955 名	山梨県	埼玉県
新潟県	1617 名	長野県	茨城県

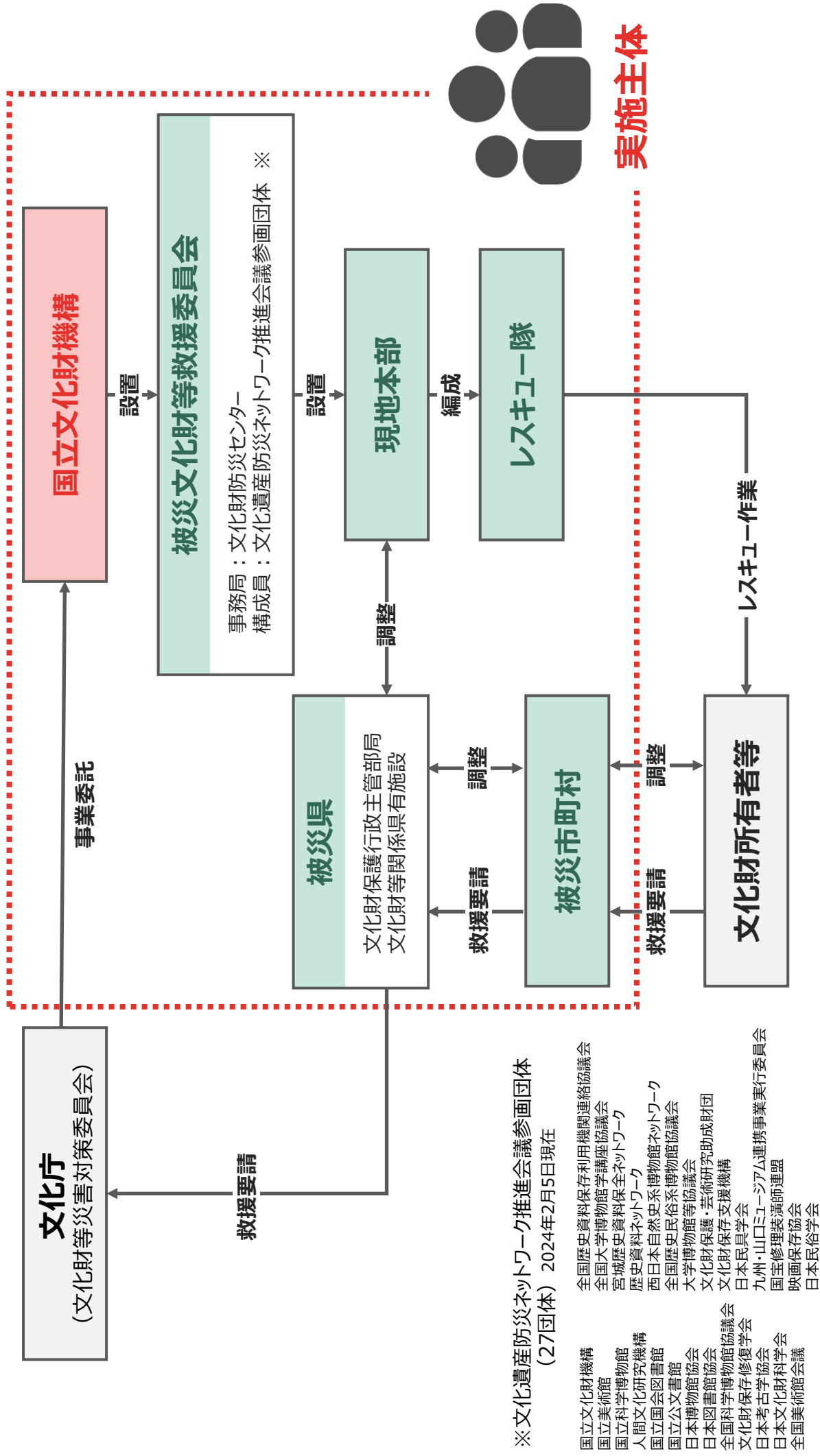
計 17,542 名 (連合会 7 年 1 月理事会資料からの 6 年 12 月会員数)

[illegible]

7

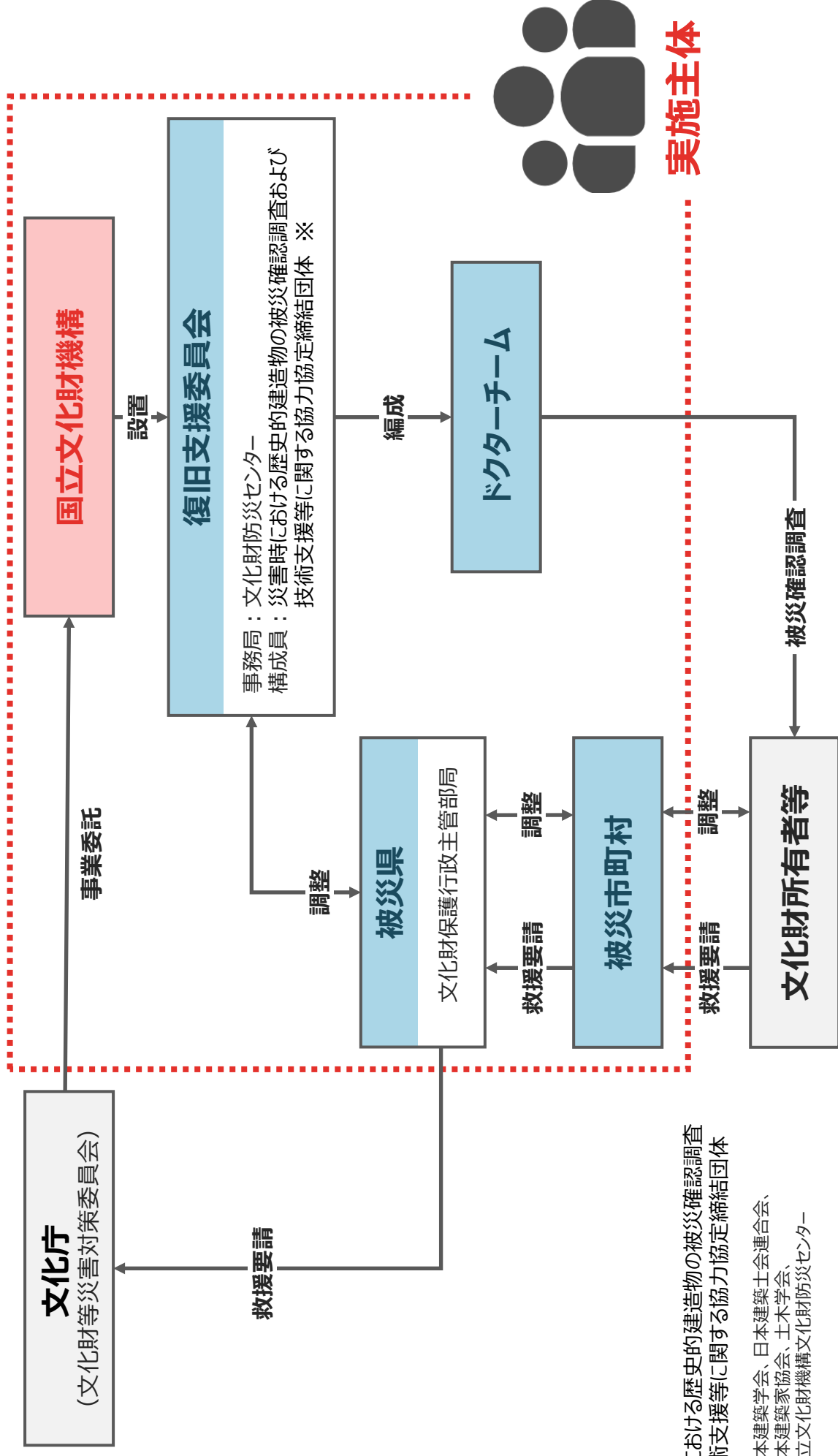
令和6年能登半島地震被災文化財等救援事業（文化財レスキュー事業）

文化財の廃棄・散逸を防止するため、主に国指定等以外の文化財（動産文化財）を対象として、緊急に保全措置を必要とする動産文化財及び美術品を対象に、救出、応急措置し、博物館等において一時保管を実施



令和6年能登半島地震被災建造物復旧支援事業（文化財ドクター派遣事業）

文化財建造物を保護するため、主に国指定等以外の文化財（建造物）を対象として、応急措置及び復旧に向けて専門家を派遣し技術支援等を実施



※災害時における歴史的建造物の被災確認調査および技術支援等に関する協力協定締結団体

日本建築学会、日本建築士会連合会、
日本建築家協会、土木学会、
国立文化財機構文化財防災センター

関東甲信越建築士会ブロック会災害時相互協力と、 歴史的建造物被災調査等に関する協定書

関東甲信越建築士会ブロック会各建築士会（以下、各士会という）は、以下の内容について合意したのでこの協定書を取り交わす。

1. この合意は、関東甲信越建築士会ブロック会（以下関ブロ）圏内において災害対策基本法に基づいた災害が発生し、いずれかの行政庁より各士会に協力要請があり、被災士会のみでの対応が難しい場合に、各士会の支援を得て、被災地域住民の安全安心と歴史的建造物被災調査等に寄与することを目的とする。
2. 支援要請を行う各士会は、被災士会長の判断により、支援活動の内容、その他必要事項を記載した書面により、相互支援主管士会に支援を要請するものとする。
ただし、緊急を要する場合は、口頭により要請することができることとし、より大規模な支援が必要な場合は、関ブロ会長宛に支援を要請するものとする
3. 相互支援主管士会は別途定めるものとし、支援対象の都県にて大規模な災害が発生し支援要請が予想される場合には、予め心算し、要請を受けた際には速やかに協力者を募り支援するものとする。
4. 被災建築物応急危険度判定活動の協力要請については、この限りではない。
5. 歴史的建造物の被災確認調査等については、国が指定した文化財以外の歴史的建造物を調査対象とし、必要となる歴史的建造物リストと、その他調査活動に必要な資料を相互に交換するものとする。。
6. 各士会においては、支援活動の体制と責任者を予め定め、この協定に基づく協力が円滑に行われるよう相互支援活動に関する訓練、及び被災調査等に必要なスキルアップ講習を行うものとする。
7. 相互支援体制を実効あるものとするため、各士会は平素から関係機関等と十分な連携を図ることにより、発災時の迅速的確な対応に万全を期するよう努める。
8. 支援活動に掛る費用については、支援士会の大きな負担とならないよう被災行政庁、被災士会や、(公社)日本建築士会連合会と関ブロ会長が協議の上、関ブロにて協議の上、助成金額を定めるものとする。
9. この合意の解釈について疑義が生じたとき、又は定めのない事項については、関ブロにて協議の上、定めるものとする。
10. この協定書は、令和2年締結の「災害時相互協力に関する覚書」を改訂するものであり、有効期間は合意の日から2年間とする。
有効期間が満了する日の1か月までに各士会から解除又は改定する意思表示がない時には、引き続き2年間延長されるものとし、以降も同様とする。

本協定締結の証として、各士会会長が署名の上、その写しを各士会1通保有する。

令和7年 4月11日

関東甲信越建築士会ブロック会会長・
(一社) 埼玉建築士会 会長

北岡庸一郎



(一社) 茨城県建築士会 会長

柴和伸

(公社) 長野県建築士会 会長

江口信行

(公社) 新潟県建築士会 会長

田中隆司

(一社) 千葉県建築士会 会長

久富清敏

(一社) 群馬建築士会 会長

高橋康夫

(一社) 山梨県建築士会 会長

長田正寿

(一社) 東京建築士会 会長

古谷成幸

(一社) 神奈川県建築士会 会長

上原伸一

(一社) 栃木県建築士会 会長

柴田道夫

各士会への関ブロ災害見舞金・支援状況 2026.04

■平成 16 年 10 月 23 日 新潟県中越地震 M6.6 震度 7(川口町)

- 被害:死者 68 名、全壊住戸 4172・半壊 13810 被災中心地:小千谷市・長岡市・十日町
- 新潟士会へ見舞金:ブロック10万+9都県10万 計100万円
- 人的応援:被災住宅相談キャラバン隊 9 都県 1225 人×2 万+諸経費 計 3700 万(国費)

■平成 19 年 7 月 16 日 新潟県中越沖地震 M6.8 震度 6 強

(長岡市・柏崎市、長野県飯綱町)

- 被害:死者 15 名 新潟県:全壊住戸 1319・半壊 5621 長野県:建物一部損壊 318 棟
- 新潟士会・長野士会への見舞金:ブロック会各 10 万円。+各県個別
- 人的応援:住宅相談 313人×1 万 ブロック負担金:約390万円

■平成 21 年 3 月 11 日 東日本大震災 (別紙)

- 応急危険度判定: 関ブロ内 715 名×8700 円(連合会助成金)
- 被災住宅相談(無料):被災住宅相談 550 名(関ブロ各県)×5000 円=275 万(関ブロ)
- 見舞金:岩手・宮城・福島・茨城 各 100 万。千葉・栃木・長野・新潟各 50 万 計 875 万

■平成 26 年 11 月 22 日 長野県神城断層地震 M6.7 震度 6 弱(小谷村・小川村)

- 被害:全壊住戸 81・半壊 172 震源:北安曇郡白馬村
- 応急判定:長野士会 48 名(連合会助成)・
- 関ブロ: 長野士会 住宅相談 242 名×5000 円(121 万・災害支援見舞金)

■平成 27 年 9 月関東・東北豪雨(9 月 9 日～11 日)常総市・堺町・栃木市・日光市

- 被害:常総市(床上浸水 4400 戸)
- 茨城士会への見舞金:連合会・関ブロ 各 20 万

■熊本地震 平成 28 年 4 月 14 日 M6.5 震度 7(益城町)

- ／4 月 16 日 M7.3 震度 6 強 (南阿蘇村) 震度 6 弱(大分県別府市)
- 被害:死者 211 名 全壊住戸 8632 戸 半壊 33600 戸
- 見舞金: 200 万(事務局上部階漏水による事務機器損害)

■令和元年台風 15・19 号(10 月 12～13 日)による浸水被害

- 被害:死者 90 名、住家の全半壊等 14,197 棟(全国)
- 見舞金:千葉・長野・栃木 各 30 万
- ◎他会からの見舞金 連合会(20 万×3)60 万+中四国ブロック 30 万

◇令和 2 年 7 月豪雨

- 被害:死者 65 人 住家の全半壊 3098 棟)
- 見舞金を検討するも実施なし。

■能登半島地震 令和 6 年 1 月 1 日(M7. 6)

- 見舞金:石川県・長野県 100 万円、富山県 20 万円、激励金:長野県 100 万円

平成 28 年熊本地震 九州ブロック会 被災歴史的建造物の復旧支援の取り組み

福岡士会 中島 孝行

熊本地震発災

4 月 14 日 21 時 26 分 M6.5 震度 7

4 月 16 日 01 時 25 分 M7.3 震度 7

1. 平成 28 年 熊本土会 HM 責任者 山川氏と TEL 連絡（安否確認）
4 月 15 日 九州ブロック会で被災調査実施を確認
※行政は災害対応でなかなか動けない
※応急危険度判定調査が 4 月 15 日から 6 月 4 日まで
※建築学会等による被災調査（益城町の悉皆調査・福岡士会 HM 参加）5 月上旬
熊本土会－①熊本県文化財部局と調整
②調査対象物リスト作成
2. 5 月 4 日 熊本土会 山川氏と福岡士会 中島と事前協議
被災調査実施委員会の設置
調査対象物リスト 主管県 福岡士会 etc.
3. 5 月 6 日 ・「建築士会九州ブロック会による被災歴史的建造物被災調査活動に必要な相互応援に関する協定」を発動
・福岡士会より九州ブロック会 事務局 佐賀士会へ調査実施委員会の開催の通知
・福岡士会より九州ブロック会各士会及び HM 責任者へ調査実施委員会開催の通知
4. 5 月 13 日 九州ブロック会 平成 28 年熊本地震
歴史的建造物被災調査応援実施委員会の開催
参加者 各士会 HM 責任者、熊本土会 HM 地区担当者
文化庁田中調査官、建築学会の先生、熊本県文化財担当者
内容：調査日程、調査対象物、調査エリアと分担、班分けなどを決定
5. 5 月 14 日 福岡士会中島より各士会 HM 責任者へ送付
調査対象物リスト、調査計画書、調査シート
6. 5 月 14 日・15 日 熊本土会 HM 地区担当者（班長）と各士会 HM 責任者で相互に連絡
調査日時、集合場所などを調整
各士会 ① HM の班分け ② 準備確認 ③ 調査計画書の提出
7. 5 月 20 日～22 日 緊急調査 歴史的建造物被災調査（一次）実施 延べ 117 名
熊本県内近代和風調査建造物 332 棟
熊本土会 HM に道先案内していただく
2 名ないし 3 名で調査 調査シート作成
熊本市内は公共機関で 他は熊本土会班長の車で移動

調査実施本部を熊本土会事務局に設置（福岡士会（主管）中島が待機）

8. 5月31日 調査報告書と一次調査シートの集約→熊本土会へ
9. 6月9日 文化庁 文化財ドクター派遣事業の熊本県内被災建造物調査準備会議
組織：復旧支援委員会 委員長 後藤 治
日本建築士会連合会（事務局）、日本建築学会、
日本建築家協会、土木学会 事務局：日本建築士会連合会
※福岡士会の中島が事務局（当時 秦氏）と事務的連絡を取る
※建築学会の方々は東日本大震災の調査の経験があり、参考になった。
内容
・調査対象物：熊本・大分県内の震度5強以上の市町村の建造物
建築学会データベースより 1700 棟（予定）
・調査派遣員：（九州ブロック会 HM と建築家協会修復塾修了者）229 名
・担当エリア 各県・建築家協会
10. 6月25日 熊本県 文化財ドクター派遣事業（一次調査）被災状況調査が始まる
2名ないし3名で調査 調査シート作成
調査対象物：熊本県内の震度5強以上の市町村の建造物
建築学会データベースより 1297 棟
11. 7月 ※公費解体が始まる
益城町7月7日～ 熊本市7月19日～
12. 8月25日 文化財ドクター派遣事業の大分県内被災建造物調査準備会議
13. 8月下旬 熊本県内被災建造物 要二次調査物件の集約→熊本土会へ
14. 9月12日～18日 大分県 文化財ドクター派遣事業（一次調査）被災状況調査を実施する
2名ないし3名で調査 調査シート作成
調査対象物：大分県内の震度5強以上の市町村の建造物
建築学会データベースより 353 棟
※大分県は一次調査で終わる
15. 10月中旬～
翌年3月末 熊本県 文化財ドクター派遣事業（二次調査）被災状況調査が始まる
一次調査で傾斜以上の被災建造物を対象とする（復旧支援委員会）
・建物の価値の損失度等詳細調査
・被災に対する所有者の意向確認
文化庁→熊本県文化課→各市町村文化財担当課
・2名ないし3名で調査（各市町村文化財担当課も同行）
調査シート・図面作成（スケッチ 配置図・各階平面図 1/100 程度）

- ・建物の被災状況と安全性及び価値を所有者への伝達
- ・安易な公費解体の阻止のために所有者との関係づくり
- ・最終的に 193 棟を調査する

16. 3 月

熊本県被災文化財等復旧復興基金の創設

- ※熊本城等県内文化財の復旧を目的にした寄付金の一部を「未指定の文化財」の修復に充てることが、市民等の声の高まりにより決定された。
- ・助成金 1/2
 - ・助成金 2/3（国登録有形文化財となることの同意書が提出された場合）

17. 4 月～

熊本県 文化財ドクター派遣事業（三次調査）が始まる

二次調査対象建造物 435 棟の内 159 棟を候補（社寺は除く）

熊本地震歴史的建造物復旧支援事業担当 HM・県文化課会議 随時開催

ヘリテージマネージャー等による技術的支援

- ・二次調査の平面スケッチに被害のキープラン及び写真
- ・概算工事費作成
- ・申請手続き（県・市職員と）
- ・設計監理者、施工業者の斡旋と設計、施工アドバイス

令和 5 年 12 月現在 74 棟を修復完了

※毎年 5～7 件 助成金 2/3 を受けて修復した建造物を国登録有形文化財に申請

18. 平成 30 年
1 月 28 日

「平成 28 年熊本地震被災文化財等復旧復興支援事業に係る被災歴史的建造物修理工事 設計・監理者講習会」を開催

主催：熊本地震被災文化財建造物復旧支援委員会、熊本県教育委員会

- ・熊本土会設計監理者（HM）の不足→他県の HM の設計監理業務を受託するための講習会（6 時間）

H25.2.1



1. 被災調査シミュレーション

- ・調査員3名1班で4班、1班2件で8件調査
- ・状況把握外観目視調査15～20分／棟

2. 連絡網確認シミュレーション

- ・球磨地域広域連携協議会の1市9町村の文化財担当者と建築士会事務局間で文書(メール)「支援要請書」「応答書」と電話により連絡確認

■歴史的建造物の把握

- ・リスト化・マップ作成

[illegible]

歴史的建造物の被災調査・復旧支援体制検討のための 模擬訓練 一大分県・日田市ー

H25.11.29



■行動シミュレーション

1. 被災調査シミュレーション

- ・調査員3名1班で4班、1班1件で日田市内5件調査
- ・状況把握外観目視調査15～20分／棟

2. 連絡網確認シミュレーション

- ・災害対策実施本部(日田市)及び支援本部(大分県文化課)と支援団体(建築士会事務局)間で文書「支援要請書」「応答書」をFAXでやり取り連絡網の確認



■歴史的建造物の把握

- ・リスト化・マップ作成



●歴史的建造物リスト 平成25年11月29日現在

番号	指定種別	名称	所在地	建築年	建築様式	建築者	調査員	調査日	調査結果
1	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
2	国定文化財	大野和松天満社	日田市	1853	1300	大野和松天満社	大野和松天満社	大野和松天満社	大野和松天満社
3	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
4	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
5	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
6	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
7	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
8	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
9	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
10	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
11	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
12	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
13	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
14	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
15	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
16	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
17	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅

●歴史的建造物リスト 平成25年11月29日現在

番号	指定種別	名称	所在地	建築年	建築様式	建築者	調査員	調査日	調査結果
1	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
2	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
3	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
4	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
5	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
6	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
7	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
8	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
9	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
10	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
11	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
12	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
13	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
14	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
15	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
16	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅
17	国定文化財	日田藩家老宅	日田市	1853	1300	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅	日田藩家老宅



H26.12.26

1. 被災調査シミュレーション

- ## 2. 連絡網確認シミュレーション

- ## ■歴史的建造物の把握

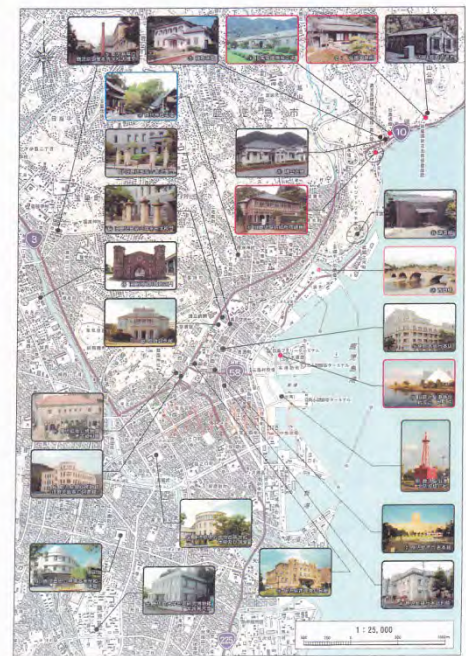
- ・リスト化・マップ作成

12月16日(火) 平成26年度「被災歴史的建造物の調査・復旧支援のための模擬訓練」実施対象建築物
鹿野島市内の歴史的建造物

序号	展位 编号	名 称	展位图1	展位图2	位置 楼层	展览及开幕式	建馆年	改建 年份	展览 状况	主要 行业	管理 单位	紧急疏散 及消防通道	防火 分区	备 注
5	500001	福建展馆 (由开平、珠海、香港 三市共同提供)	福建展馆	吉野町3060-1	A" 3" 34" 12" 34"	水运及船舶、五 星、航海、海洋、 航海器材、航海 工程、航海技术	1981 (1982)	1991 年	良好	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	
6	600001	福建展馆 (由开平、珠海、香港 三市共同提供)	福建展馆	吉野町3060-1	A" 3" 34" 12" 34"	水运及船舶、五 星、航海、海洋、 航海器材、航海 工程、航海技术	1981 (1982)	1991 年	良好	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	航海、船舶、 海洋、航海、 航海器材、航 海工程、航海 技术	

[illegible][illegible]

4	20	張家口	張家口市中央公園	張家口市	山下町11-1	31.00271	100.26444	RC造地上3階地下1階建、面積1128㎡	昭和2年(1927)		張家口市	張家口市	張家口市	
	52	張家口	興政記念館 (旧張家口市庁舎本館)	張家口市	山下町14-1			RC造3階建 面積34㎡	大正14年(1925)	2000改修	張家口市	張家口市	張家口市	

[illegible]

平成28年熊本地震歴史的建造物被災状況調査

H28.5.20
～22

建築士会九州ブロック会による被災歴史的建造物被災調査活動に必要な相互応援に関する協定書

(趣旨)

第1条 この協定は、地震等による天災が発生し、被災県単独では十分に歴史的被災状況調査等ができない場合に備え、建築士会九州ブロック会(以下、甲とおける県間の応援活動を迅速に遂行するための事項を定めるものとする。

(定義)

第2条 この協定
鹿児島県

(事前の準備)

第3条 甲は、国
作成し、
2 調査項目

(応援体制)

第4条 甲は、被災
活動を実
2 応援する
行うもの
3 被災を受
を連絡し
とする。

平成28年熊本地震歴史的建造物被災状況調査対象建造物リスト

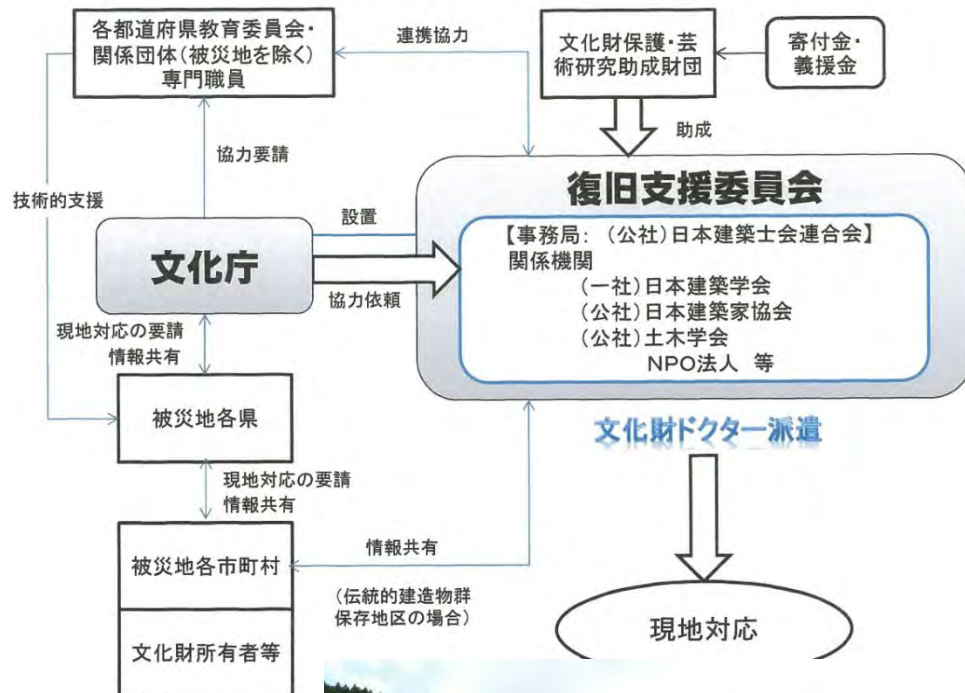
県棟	県箇	枝番	市	市	枝番	建造物名称	棟名	種別
1	1		1	1		小泉八雲熊本旧居		住居
2	2	-1	2	2	-1	藤崎八幡宮	本殿	
2	2	-2	2	2	-2	藤崎八幡宮	申殿	
2	2	-3	2	2	-3	藤崎八幡宮	拝殿	
2	2	-4	2	2	-4	藤崎八幡宮	回廊	
2	2	-5	2	2	-5	藤崎八幡宮	楼門	
2	2	-6	2	2	-6	藤崎八幡宮	神楽殿	
2	2	-7	2	2	-7	藤崎八幡宮	手水社	
2	2	-8	2	2	-8	藤崎八幡宮	能楽殿	
2	2	-9	2	2	-9	藤崎八幡宮	摂社 末社	
2	2	-10	2	2	-10	藤崎八幡宮	鳥居 灯籠	
2	2	-11	2	2	-11	藤崎八幡宮	神輿舎	
3	3		3	3		鈴木家住宅(旧中村小児科)		
4	4		4	4		夏目漱石内坪井旧居		
12	7		12	7		森本徳表具材料店		
13	8		13	8		後藤商店		
14	9		14	9		野田市兵衛商店		
22	13	-1	22	13	-1	池田屋醸造 主屋		
23	13	-2	23	13	-2	池田屋醸造 蔵		
24	14		24	14		仰松軒		
25	15		25	15		清水産菜		
30	20		30	20		長崎次郎書店		商業 店舗 熊本
31	21		31	21		株式会社吉田松花堂or吉田松花堂		商業 店舗 熊本
32	22		32	22		古閑家住宅		住居 武家 熊本
33	23		33	23		淡成居(後藤是山旧居)		住居 一般住宅 熊本
34	24		34	24		夏目漱石第三旧居		住居 一般住宅 熊本
35	25	-1	35	25	-1	紫藤家住宅	蔵	住居 倉庫 熊本
25	25	-2	25	25	-2	紫藤家住宅	主屋	住居 一般住宅 熊本
25	25	-3	25	25	-3	紫藤家住宅	主屋	住居 一般住宅 熊本



平成28年熊本地震文化財ドクター第1次調査

H28.6.25
～8.12

熊本地震被災文化財建造物復旧支援事業 (文化財ドクター派遣事業)



別紙

歴史的建築物被害状況調査 調査シート

整理番号	/		調査年月日	2016年 8月 1日	
調査員	伊東龍一、山川満清		建造物名称	串麩天満宮本殿	
所在地	阿蘇市の石		建立時代	元禄10年再興	
指定の有無	未指定 登録 指定 (史蹟)		基礎情報の出典	現地調査 ☐ 近代化遺産 ☐ 近代和風調査 ☐ 建築学会DB ☐ その他 ()	
所有者 住所・氏名	氏名: (窓口) 阿蘇市世界文化遺産推進室 住所:		所有者 連絡先	tel: 0967-34-1643 fax:	
建物種別	☐ 寺院 ☐ 神社 ☐ 蔵 ☐ 民家 ☐ 近代住宅 ☐ 近代建築 その他 ()		構造/階数 (地階)	☐ 木造 ☐ 煉瓦造 ☐ RC造 ☐ S造 ☐ 石造	
階数 (地階)	1 階		その他の構造 ()		
屋根葺材料	☐ 本瓦 ☐ 桧瓦 ☐ 檜皮 ☐ こけら ☐ 茅 ☐ 金属板 その他 ()		被害状況		
基礎	被害無し ☐ 亀裂	部分破壊	傾斜	半壊	全壊
軸部・梁	被害無し	軽微	部分破壊	☐ 傾斜 ☐ 半壊	全壊
屋根	被害無し ☐ 被害無し	軽微	傾斜	半壊	全壊
外壁	被害無し	亀裂	☐ 部分破壊	傾斜	半壊
内 部	被害無し	亀裂	☐ 部分破壊	傾斜	半壊
総合判定	被害無し	軽微	部分破壊	傾斜 ☐ 半壊	全壊

現況と所有者の意向等
向拝柱の傾斜が1/5であるが、全体としては修理が可能な状況。

その他



特記事項 (写真等を添付)

『全国 HMN 協議会、第 48 回運営委員会』 議事次第(案)

- ◆ 日時 … 2026 年 6 月 5 日(金) 18 時 30 分から
- ◆ 場所 … オンライン会議
- ◆ 参加予定 … 後藤委員長、塩見副委員長、中西副委員長、内田副委員長、川原(北海道)、鈴石、高橋(東北)、武村、梶(関東)、福田(東海・北陸)、風月(近畿)、中村、濱井(中国・四国)、中島(九州)、鯨坂(賛同団体)、中西良成(石川)、沢田、青木(相談役)、池田(鹿児島)、東田(北海道)、倉田様(静岡)、信藤(大阪)、小林、野口、宮田、林(群馬)、大西(香川)、橋本(徳島)、岩松、北山(高知)、花岡、峰岡(愛媛)、山川(熊本)、榎本、竹田、副島(事務局)
- ◆ 議題 …
 1. 参加者の確認、後藤委員長あいさつ
 2. 前回(2026.03.31)の議事録について(風月委員) (資料 1)
 3. 能登半島地震の報告 (中西良成氏、石川県)
 4. 歴史的地域資産チェックシート分科会について(信藤氏、東田氏) (資料 2)
 5. 第 14 回総会(群馬)と歴史まち・防災・木まちづくりセッション HM 大会について(資料 3)
 - ・大会関連行事としての開催および参加費について
 - ・運営委員会スケジュール → ●月総会と大交流会の案内送付 → HM 養成講座実施状況アンケート等送付 → 取りまとめ → 総会案内とプログラム、パンフレット、申し込み一覧の作成等 → 10/15 総会
 6. 熊本地震後 10 年の「歴史的建造物普及支援活動」報告会の開催について (資料 4)
 7. ヘリテージマネージャー認定者の他県転居時の取扱いについて (資料 5)
 8. その他
 - ・和歌山県御坊市の国登録有形文化財である醤油醸造の老舗「堀河屋野村」のクラウドファンディングについて (資料 6)

* 次回の運営委員会は、令和 8 年 月 日()18 時 30 分 ~ の予定です

『全国 HMN 協議会、運営委員会』 議事録(案)

- ◆ 日時 … 2026 年 3 月 31 日(火) 18 時 30 分から 19 時 40 分頃まで
- ◆ 場所 … オンライン会議
- ◆ 参加者… 後藤委員長、塩見副委員長、中西副委員長、内田副委員長、川原(北海道)、鈴石、高橋(東北)、武村(関東)、風月(近畿)、濱井(中国・四国)、中島、(九州)、鰐坂(賛同団体)、中西良成(石川)、沢田、青木(相談役)、池田(鹿児島)、信藤(大阪)、小林、野口、宮田、林(群馬)、大西(香川)、橋本(徳島)、北山(高知)、峰岡(愛媛)、榎本、竹田(事務局)
- ◆ 議題 …
 1. 参加者の確認、後藤委員長あいさつ
前回に引き続き熊本での報告会の件や群馬大会の内容など検討したいと思うので、
どうぞよろしくお願いします
 2. 前回(2026.02.09)の議事録について(中西副委員長) (資料 1)
内容に修正など必要な方は後日でもいいので連絡ください
 3. 能登半島地震の報告について (中西良成氏、石川県) (資料 2)
 - ・「被災建造物復旧支援委員会ならびに被災文化財等救援委員会」が、3/25 に WEB で開催され 100 名ほどの参加者がありました
 - ・「令和 6 年能登半島地震被災建造物復旧支援委員会設置要綱」について
 - ・「令和 6 年文化財ドクター派遣事業」について、新潟県、富山県、石川県のそれぞれの調査棟数や総数について。また(救援委員会活動団体)による参加延べ人数なども説明されました
 - ・令和 8 年度以降の文化財防災センターの対応について
 - ・新聞記事の紹介、『国のレスキュー事業が終了するにあたり、「被災文化財保存へ新組織」県の教育委員会が活用を具体化へ』
 - ・情報提供として、七尾市の(龍門寺)が国登録有形文化財に答申されました
 - ・調査員、技術者が不足しています
 4. 歴史的地域資産チェックシート分科会について(信藤) (資料 3)
前回 3 月 24 日にオンラインで会合をおこなったので報告します
 - ① 分科会メンバーの共通認識の熟成 ⇒ 近現代建造物緊急重点調査に使用できるものとなっている+α
 - ② 都道府県ごとに使い方を確認 ⇒ 育成講座で使用、とにかく使用
 - ③ 都道府県ごとにアレンジ ⇒ すぐには無し
 - ④ 使い方ガイドの作成 ⇒ シート使用例作成など10/15 の第 14 回総会で報告が出来るよう、協議と検討を進めます

*福岡県、香川県、神奈川県でも養成講座で使いたい。エクセル版とワード版を送付してほしい

5. 中国、四国ブロックの考え方、運営委員会への参加について(中西副委員長)
- ・前回の運営委員会にて承認済みですが、具体的には四国ブロックから 1 名～2 名が運営委員会に参加され、ブロック内の会合やメールで情報共有してもらうのが良いかと思います。もちろんオブザーバーで参加されたい方は拒むことは無いと思います。
 - ・1 名～2 名の方で役付きを決めて貰えると、中国ブロックとの連携もとりやすいと思います。(後藤)

6. 熊本地震後 10 年の「歴史的建造物普及支援活動」報告会の開催について
(後藤委員長、中島氏)(資料 4)
- 中島)山川さんが別の会議なので説明いたします。資料のように日程は 12 月 19 日、場所は熊本城ホール・シビックで 320 名収容できる会場での開催となります。今後報告者の選定や予算について、また ZOOM ウェビナーを使用するか？など、詳細を詰めていきます
- 後藤)ドクター事業の意義や成果を示してほしいと思っています

7. その他
- 事務局竹田)文化財防災センターから、12/8 の青森沖地震について、能登半島地震の時と同じように準備会を立ち上げ、東北ブロックにも調査協力など養成したいとメールが届きました

群馬県小林)大会の内容についてはまだ全ては決まってないのですが、現在士会会長等で協議中と聞いています。一つは「絹の国の建築文化を未来へつなぐ」というものと、「空き家の活用」また、「桐生新町重伝建地区の事例」や「古民家を改修して(舘林紬)の再考の拠点」としている事例や、「みどり市大間々町にある木造 2 階建ての芝居小屋(ながめ余興場・市指定文化財)」など、3 つの事例紹介を考えています。

前日の第 14 回総会についても詳細はこれからで、検討中ですが参加者には前橋駅前のホテルでチェックイン、そこから会場のグリーンドームに移動してもらう案が出ています。懇親会をどうするかも協議中です。翌日の大会会場は高崎へ移動してもらうこととなります。総会に参加される方は宿泊は前橋市、翌日の朝に高崎へ来てもらうのが良いと思います

* 次回の運営委員会は、令和 8 年 6 月 5 日(金)18 時 30 分 ～ の予定です

第14回 全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会 総会

(案)

日時・場所 令和8年10月15日(木) 群馬県前橋市内

① まち歩き JR前橋駅から日本トーターグリーンドーム前橋へ 参加費：無料

12:30～14:30 JR前橋駅またはグリーンドームで受付

(まち歩き参加者のみ、参加シール配布)

コンフォートホテル前橋がオフィシャルホテルになっています。

荷物預かりを希望の方は、各自でご利用下さい。

宿泊希望者は、直接予約をお願いいたします。

13:00～15:00 前橋のまち歩き(自由散策)

約2.5kmの道のりです。一部路線バスを利用して歩くのも良いと思います。

群馬県庁昭和庁舎・群馬会館・臨江閣には案内人がいます。

臨江閣は当日工事中のため、一部制限をして案内をいたします。

見学希望者は申込時に希望時間

臨江閣 HP→



(13:15、13:30、13:45、14:00、14:15、14:30)をご記入下さい。

当日は見学場所集合順に20人程のグループで整然と見学していただきます。

② 総会 日本トーターグリーンドーム前橋 サブイベントエリア1 参加費：()

14:30～15:30 受付 (総会・交流会参加者)

15:30～17:30 総会 別紙プログラムによる

<移動>

③ 交流会 日本トーターグリーンドーム前橋 サブイベントエリア2

17:45～19:15 立食形式・フリードリンク付 参加費：一人 7,500円予定

※まち歩き・総会・交流会申込み締切：令和8年9月10日(木)まで

交流会参加費は令和8年9月30日(水)までに事前振込をお願いいたします。

当日の現金での受付はいたしません。また振込後のキャンセルはできませんので、ご了承をお願いいたします。

ぐんま大会 まちづくりセッション①、第13回全国ヘリテージマネージャー大会

日時 令和8年10月16日(金) 9:30～11:30

場所 群馬県高崎市岩押町12-24 Gメッセ群馬 2階メインホールB

テーマ 絹の国の歴史と建築文化を未来へつむぐ

※こちらは、「ぐんま大会」大会登録・セッション申し込みをして下さい。(締切：7月20日)

<各会場案内図>

A JR前橋駅 前橋市表町2丁目367-1 027-224-8005

<電車> 上越新幹線・北陸新幹線 高崎駅乗換、両毛線(小山方面)約15分

B コンフォートホテル前橋 前橋市表町2丁目18-14 027-226-7911

<電車> JR前橋駅北口 徒歩約3分

<車> 関越自動車道 前橋ICより約10分
北関東自動車道 前橋南ICより約15分
※駐車場はホテルに確認して下さい。

宿泊希望者は、直接予約をお願いいたします。



C 日本トーターグリーンドーム前橋 前橋市岩神町1丁目2-1 027-235-2000

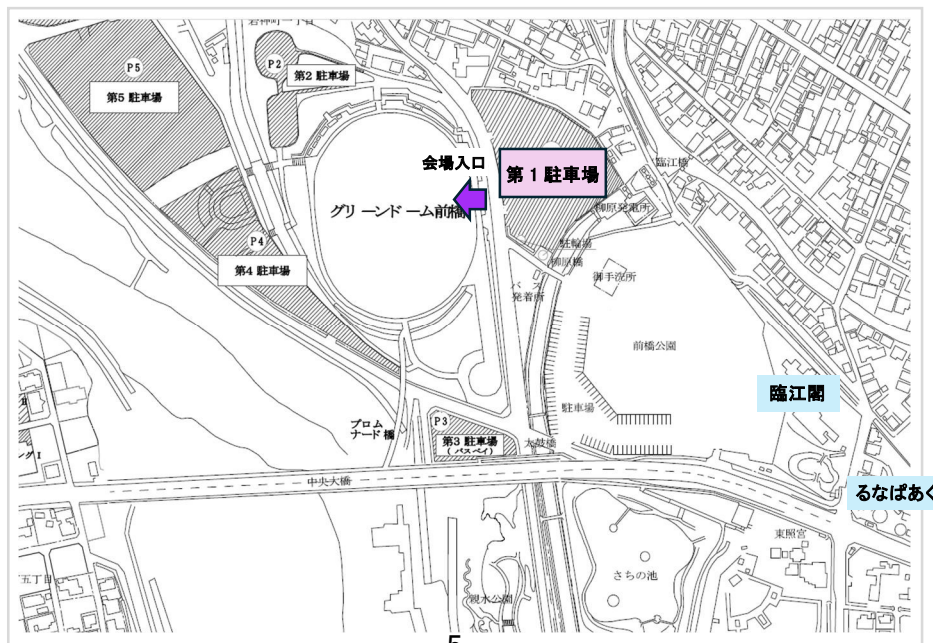
☆サブイベントエリアへは、東側1階正面入口を利用して下さい。↓



<電車> JR前橋駅北口 徒歩約45分、またはバス約15分

<車> 関越自動車道 前橋ICより約10分

<駐車場> 無料 第一駐車場：400台



令和8年10月15日(木) 第14回全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会総会 参加申込書 (ぐんま大会)

※参加：○、不参加：×、希望時間をプルダウンで選択して下さい。

No.	参加団体名	団体内での役職	氏 名	フリガナ	勤務先名	当日連絡TEL	メールアドレス	まち歩き(13:00~15:00))			総会(15:30~17:30)		交流会(17:45~19:15)		総会資料購	
								参加(無料)	臨江閣見学	希望時間	()		(7,500円予定)		(円)	
例	群馬建築士会ヘリテージマネージャー協議会	会員	利根川 太郎	トネガワ タロウ	TT設計	123-4567-8901	*****JP	○	○	13:15	○	()	○	7,500	×	
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
												0		0		
						計	参 加 ○ 不参加 ×	0 0	0 0		0 0	0 0	0 0	0 0	0 0	
備考欄																

※1. 出席希望の箇所を記入及び選択をし、申し込みして下さい。

申し込み先：全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会事務局 竹田様まで

送信先: chiiki@kenchikushikai.or.jp

TFI : 03-3456-2061 FAX : 03-3456-2067

申込締切：令和8年9月10日(木)まで

※2. まち歩きで臨江閣見学を希望する方は希望時間も選択して下さい。

※3. 交流会参加者は、交流会費を事前(令和8年9月30日まで)に下記まで振り込んで下さい。

団体でまとめて振り込む場合は、参加者名簿を 群馬建築士会メールアドレス(LEE06153@nifty.com)又はFAX(027-252-2565)に送信し、お振込み下さい。

口座： ○○銀行 ○○支店 普通 ○○○○○○○○ (一社)群馬建築士会

振込手数料は振込人の負担でお願いいたします。振込後のキャンセルはできませんのでご了承下さい。

※4. 総会資料の購入費用は当日受付で現金をお支払い下さい。

2026.6.5

見学希望時間集計	
13:15	0
13:30	0
13:45	0
14:00	0
14:15	0
14:30	0

様式1 (共通)

(受付番号: 08 -)
令和8年 5月 20日公益財団法人 建築技術教育普及センター
理事長 井上 勝徳 殿

令和8年度助成申請書

1. 実施者の情報

①連絡担当者が実施者と異なる場合は [] 内へ記入して下さい。)

申請者 [連絡担当者]	委員長 後藤 治 [事務局 榎本]	所属機関 ・役職	全国ヘリテージマネージャーネットワーク協議会 [事務局 (公社) 日本建築士会連合会]
連絡先住所	(〒108-0014) 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階		
連絡先電話番号	03 (3456) 2061	連絡先E-mail	chiiki@kenchikushikai.or.jp

②共同実施者

氏 名	所属機関・役職

2. 申請内容

1. 名称	熊本地震後10年の「歴史的建造物普及支援活動」報告会
2. 区分	① 以下、どちらかを選択して下さい。 ☐ 調査研究 (建築技術の教育普及に資する調査研究) ⇒ 様式2 ☒ 普及活動 (建築技術及び建築技術者の活動振興に関する普及活動) ⇒ 様式3 ② 以下、該当するもの全て選択して下さい。 ☒ 建築設計、工事監理業務(建築設備、インテリアに関わるものを含む)に関するもの ☐ 建築教育、資格制度等(建築設備士、インテリアプランナーに関わるものを含む)に関するもの ☒ 建築技術者の資質の向上、活用方策等(建築設備士、インテリアプランナーに関わるものを含む)に関するもの
3. 期間	自・令和8年 5月 1日 至・ 9年 1月 31日
4. 費用	総額 1,079,840 円 (積算内訳は [5.予算と積算内訳] に記載) うち建築技術教育普及センター負担希望額 1,079,840 円 (前渡金希望: 一有一・ 無)

3. 申請する調査研究又は普及活動について、他の助成を受けている又は申請中の場合には、その概要

・助成団体の名称:	・助成金の額:
・助成の申請・決定状況: ア. 決定済 イ. 申請中	
・概要	

4. 成果の公表等の誓約

提出した成果物は、建築技術教育普及センターのホームページ等にて公表及び配信を行う。 ☒ 上記について了解しました
--

様式3（普及活動用）

5. 予算と積算内訳

下記の様式にしたがい必ず記載してください。書ききれない場合は行を追加してください。

費目	助成対象	自己資金	金額（税込）	内訳
旅費交通費	○		459,640	講師：東京@114,000、奈良@65,300、熊本@2000 運営委員：神奈川@114,000、和歌山@65,300、静岡@81040、熊本@2000×9
謝金	○		60,000	報告会講師
	○		40,000	見学会ガイド
	○		150,000	準備会議@5,000×10人×3回
会場費	○		100,000	熊本城ホール大会議室
資料作成・印刷製本費	○		50,000	チラシ作成費2000部
	○		200,000	報告書作成費
	○		10,000	報告書印刷費
保険・消耗品費	○		5,000	消耗品
	○		5,200	保険
小計①（助成対象）			1,079,840	
小計②（自己資金）			0	
合計			1,079,840	

（費目の例）資料費、撮影・編集費、会場費、旅費交通費、通信費、消耗品費、謝金、印刷製本費

【注意】

上記費目のうち、①職員の給与②備品（PC等）設備・機器（調査研究又は普及活動完了後も使用できるもの）の購入費 ②飲食費 ③事務管理費（間接費等）については、助成の対象とはなりません。また、助成決定後（清算時）の各費目の金額調整は認められません。

6. 普及活動

下記の様式にしたがい必ず記載してください。書ききれない場合は、行を追加してください。
なお、補足が必要な場合のみ別紙添付も可能です。（申請書は添付資料等と併せて8頁以内）

① 目的

普及活動の必要性を含めて記載してください。

1 動機

広域化している災害に対応する人材の確保とスキルの継承、また即応可能な人員配置は全国共通の課題ではあるが一朝一夕にはなしえない。このため、平常時から養成・体制構築・スキルアップ研修等の継続向上の為に努力が欠かせない。また、地域毎の取組みには限界があるので、広域連携の下に行うのが望ましい。このため、各地域の取組みの成果や課題を共有し、指標を生み出すためのプラットフォームとしての基盤が必要となる。

今回の普及活動においては、人々の生活・暮らしから生まれた文化の継承や地域づくりに欠かせない身近な文化財としての価値を有する建造物（文化庁・都道府県・市町村から文化財等の指定を受けてはいないもの）を主たる対象とする。本来、これらの建造物は個人だけでなく社会全体で守られていくべきものではあるが、残念ながらこれまでの長い歴史の中で醸成され継承されてきた文化的価値が、私たちの時代での主として経済的な要因により安易に改変され、毀損され若しくは除却されようとしている。普及活動を通じて変えていくものと変えてはいけなないものを識別する知恵をどのような手段で、またどの様に確保していくかを見出していきたい。

2 目的及び必要性

これまでの10年の活動で培った成果と将来に向けた課題を全国で広く共有できるよう告知の場として報告会を開催するが、この催しは今後も多発が予想される広域災害への準備の契機として重要な取り組みとなる。激動の国際情勢の中でやることの多様化、複層化から生成される多様な事象に日々忙殺される日常において、起きるかもしれないという不確定な予想だけで予防的措置を取ることに腰が重く、つい対処療法に依存してしまいがちである。しかし、検証とそれを基にした備えは後悔しないために関係者にとって必要な取り組みと考える。

② 普及活動の内容、そのスケジュール

普及活動の対象者、対象地域、会費、参加費の有無等を含めて記載してください。

1 対象者

歴史的建造物の復旧支援活動に携わる専門家及び技術者（学会、ヘリテージマネージャー等）、行政職員、文化財専門員、歴史的建造物の所有者、及び継承の支援者

2 対象地域

熊本地震の被災地（支援活動被災地域）、及び支援活動応援地域

3 内容の概略

開催は1日で午前中に現況見学会、午後に報告会

見学会では熊本城廻り施設の復旧状況を見学し、報告会では活動成果の報告、課題について協議し今後へつなぐ。

具体的なスケジュールその他の内容については別添実施要項をご覧ください。

なお、準備会議は7月上旬、9月下旬、11月下旬に開催を予定します。

また、参加費は無料です。

富山県建築士会 歴史まちづくり・ヘリテージネットワークとやま部会の田嶋と申します。
ヘリテージマネージャー制度運用に関する確認事項としてご連絡しております。

このたび、福井県にてヘリテージマネージャー認定を受けられた方が富山県へ転居され、
富山県でも継続して活動したい旨のご相談がありました。

当初は、富山県として柔軟に対応していく方向で考えておりましたが、部会内で協議した結果、この場だけで判断するのではなく、まずは連合会へ制度上の取扱いを確認したうえで整理すべきではないか、という意見となりました。

そこで、以下の点についてご教示いただけますでしょうか。

① 他県へ転居したヘリテージマネージャー認定者への対応および養成講座受講内容の取扱いについて

他県へ転居したヘリテージマネージャー認定者への対応について、連合会としての基準・考え方があるかご教示いただきたく存じます。

転居前建築士会での養成講座において既に 60 時間の講義を修了していることから、地域特性に関する内容をどのように扱うのかについても、あわせてご教示いただけますと幸いです。

また、各県で養成講座の開催状況が異なり、転居先によっては近々の開催予定がない場合もあることから、そのような場合を含めた制度運営上の一定の整理や考え方がございましたら併せてご教示いただけますと幸いです。
なお、富山県では近々の養成講座開催予定がない状況です。

② 認定書（修了証等）の取扱いについて

認定書（または修了証等）は、各建築士会において交付されているものと認識しておりますが、
転居時の認定確認について、どのような方法を想定されているのでしょうか。

例えば、

- ・本人から認定書等の写しを提出いただく
- ・旧所属建築士会から新所属建築士会へ事務局間で情報共有する

など方法が考えられますが、正式な取扱いがあればご教示ください。

また、上記以外にも転居時対応にあたり必要となる手続きや確認事項等がございましたら、あわせてご教示いただけますと幸いです。

今後、対応が各県でまちまちになる可能性もあるため、制度運営上、一定の基準や考え方を整理いただく必要があるのではないかと感じております。

なお、当該認定者につきましては既に富山県へ転居されており、新年度も始まっていることから、富山県での今後の活動方針を早急に整理する必要がある状況です。

部会としても方向性を定めたいと考えておりますので、可能であれば早めにご回答・ご教示いただけますと大変ありがたく存じます。

6.9
スタート

創業330年 初めてのクラウドファンディング

資料6



このままでは失われる 醤油発祥地 最古の蔵を守りたい

～崩れたら二度と戻せない 和歌山から日本の食文化を未来へつなぐ～



堀河屋野村 十八代当主の野村圭佑です。

和歌山県御坊市にて、
330年に渡り、代々蔵に住み、家業にて醤油、味噌を作っています。
醤油発祥の地、最古の蔵として、
「本物を作り、本物を伝える」を信念にしています。

しかし今、国の登録有形文化財である「店舗兼主屋」が

—倒壊寸前—

という現実には直面しています。

専門家からは

「一刻も早い大規模な耐震補強工事が必要」
と診断されました。

この建物は、長年日本の食文化と向き合い、
お客様と直接つながり続けてきた、かけがえのない場所です。
この場所を失うことは、積み重ねてきた時間や文化、
その継承の場そのものを失うことを意味します。

このまま何もしなければ、本当に失われてしまう——

「本物を作り、本物を伝える」という使命を、未来へつなごう。

330年守り受け継いできたこの場所を残すため、どうかお力をお貸し下さい。



2026年6月9日[火] 8:00 より
クラウドファンディングスタート!
※8/7(金) 23時まで

耐震補強工事費

最終目標金額

2,700
万円

ご支援は
こちらから

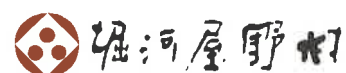


※左下のQRコードは6/9(火) 8:00以降閲覧可能です。公開直後のご支援が成功の鍵となります。

QRコードをお使いになれない方は、銀行のお振込みでもご支援いただけます。(別紙参照)

ご不明点ございましたら右記までご連絡下さい。

堀河屋野村 レディフォー



〒644-0002

和歌山県御坊市藺 743 【TEL】 0738-22-0063

営業時間 (平日午前9時～午後4時まで)



**創業より 330 年、
堀河屋野村の”顔”としてお客様をお迎えしてきた
「店舗兼主屋」が、今、静かに限界を迎えています。**



中心部の梁に大きなヒビが入り、
一刻も早い補修が必要です。



玄関の梁が白アリにより腐食し
屋根の重さに耐えきれず、
潰れてきています。



店外の足場や柱が
支えきれなくなっています。



ここ数年で傾きがひどくなり、
体感で5度程度傾いています。



床の間の傾きもひどく、
建物自体の家おこしが必要です。



天窓付近の3m四方が
陥没しており、瓦の葺きかえが必要です。

**一度崩れてしまえば、この場所は二度と元には戻りません。
今、この瞬間も、崩壊への時間は確実に進んでいます。**

この場所を未来へつなぐため、¹²ご支援よろしくお願ひします。

ご支援までの流れ

- ① 本書にご記入後、申込書送付（郵送・FAX・メールいずれか）
- ② 申込書到着後、確認のご連絡（お電話 or メール）を差し上げます。
- ③ お振込いただきます。
- ④ お振込確認のご連絡を差し上げます。
- ⑤ 堀河屋野村よりレディフォーへ申告、クラウドファンディング上に
ご支援額が計上されます。



※1 『readyfor』はクラウドファンディングの運営会社です。

堀河屋野村クラウドファンディング お申込書

カナ				〒			
お名前	様			ご住所	都 道		
					府 県		
電話			fax			メール	@
ご希望連絡先に ☒ をお願いいたします ➡ ☐ 電話 ☐ FAX ☐ メール							

2つのご支援方法があります

返礼品なし

『返礼品は不要だが寄付したい』という方

番号	コース名	ご支援金額
H-1	お気持ちご支援 [1]	5,000 円
H-2	お気持ちご支援 [2]	10,000 円
H-3	お気持ちご支援 [3]	30,000 円
H-4	お気持ちご支援 [4]	50,000 円
H-5	お気持ちご支援 [5]	100,000 円
H-6	お気持ちご支援 [6]	300,000 円
H-7	お気持ちご支援 [7]	500,000 円
H-8	お気持ちご支援 [8]	1,000,000 円

お申込書送付先

堀河屋野村
〒 644-0002 和歌山県御坊市藺 743
電話：0738-22-0063（平日 9 時～ 16 時）
FAX：0738-22-9500
メール：horikawaya@lake.ocn.ne.jp

お振込先

金融機関：紀陽銀行 支店名：御坊支店
口座番号：普通 704305
口座名義カナ：ノムラケイスケ

返礼品あり

ご支援金額に応じて返礼品をお送りいたします

番号	コース名	ご支援金額
A-1	はじめての三ツ星体験	10,000 円
A-2	蔵の味 満喫セット	30,000 円
A-3	調味料いろいろセット	50,000 円
B-1	バーチャル蔵見学	30,000 円
B-2	リアル蔵見学	50,000 円
C-1	六花亭 コラボセット	50,000 円
C-2	高下水産 コラボセット	50,000 円
C-3	ファクトリエ コラボセット	50,000 円
C-4	六花亭コラボ + 調味料いろいろセット	100,000 円
C-5	高下水産コラボ + 調味料いろいろセット	100,000 円
C-6	ファクトリエコラボ + 調味料いろいろセット	100,000 円
D-1	やきとり にし野 [京都] 2 名様	200,000 円
D-2	すし良月 (あきら) [東京] 2 名様	300,000 円
D-3	宇田津鮎 [東京] 2 名様	300,000 円
E-1	当主とともに未来を作る現地半日コース	500,000 円
E-2	堀河屋野村の未来とともに担う特別会員コース	1,000,000 円

※詳細は裏面をご参照下さい。ご不明点は堀河屋野村へお問い合わせ下さい。

ご支援内容		番号		コース名		A ご支援コース 支援金額		000		円			
		—				B Readyfor システム利用料金		220		円			
HP へのお名前掲載		☐ ご希望あり		店内パネルへのお名前掲載 ※5万円以上の方3		☐ ご希望あり		A + B ご支援合計金額		220		円	
		☐ ご希望なし				☐ ご希望なし							

※『readyfor』システム利用料金は一律 220 円となっております。

クラウドファンディング返礼品一覧

※ご支援頂きました方のお名前は、堀河屋野村ホームページに記載させていただきます。(希望者のみ)

※5万円以上のご支援は堀河屋野村の店内パネルにお名前を掲載させていただきます。(希望者のみ)

A コース 人気のご支援コース

A-1	A-2	A-3
 はじめての三ツ星体験 ・三ツ星醤油 200ml ・徑山寺味噌 200g 10,000円	 蔵の味満喫セット A-1 のセットに加えて ・米三味 200g ・赤味噌 200g ・三ツ星醤油あめ 30,000円	 調味料いろいろセット A-2 のセットに加えて ・おすすめ調味料 6本 50,000円

B コース 【特別公開】 当主と歩く蔵見学コース

B-1	B-2
 バーチャル蔵見学 ネット接続の蔵見学 ・三ツ星醤油 200ml ・徑山寺味噌 200g 30,000円	 リアル蔵見学 御坊市現地での蔵見学 ・三ツ星醤油 200ml、 ・徑山寺味噌 200g 50,000円

C コース 今回限りのコラボレーションコース

C-1	C-2	C-3	C-4	C-5	C-6
 六花亭 × 六花亭 コラボセット 今回限りのお菓子の コラボレーションセット 50,000円	 高下水産 コラボセット 今回限りの干物の コラボレーションセット 50,000円	 ・FACTELIER × ファクトリエ コラボセット 今回限りのバッグの コラボレーションセット 50,000円	 六花亭 × 六花亭 コラボセット + 調味料いろいろセット C-1 + A-3 100,000円	 高下水産 コラボセット + 調味料いろいろセット C-2 + A-3 100,000円	 ・FACTELIER × ファクトリエ コラボセット + 調味料いろいろセット C-3 + A-3 100,000円

D コース 本物を味わう食体験コース ※ご希望の日程につきましては、お申込み前に堀河屋野村までお問い合わせ下さい。

D-1 京都	D-2 東京 (広尾)	D-3 東京 (中目黒)
 やきとり にし野 2名様 名店で味わって頂く 特別な食体験コースです。 200,000円	 あきら すし良月 2名様 名店で味わって頂く 特別な食体験コースです。 300,000円	 宇田津鮨 2名様 名店で味わって頂く 特別な食体験コースです。 300,000円

E コース 蔵の核心に触れる -- 当主と巡る特別体験コース

E-1	E-2
 当主とともに未来を作る 現地半日コース リアル蔵見学、興国寺ご案内、 当主と食事、調味料いろいろセット付 500,000円	 堀河屋野村の未来をともに担う 特別会員コース E-1 のセットに加えて + 店内特別パネルの設置、当主より感謝状贈呈 1,000,000円

歴史的建造物ヘリマネ調査シート
チェックシート分科会 報告

20260605 (金)

- 次回、チェックシート分科会の開催が来週のため、詳細報告は有りません
- 次回、8月、9月のチェックシート分科会にて、シート試用の意見収集、
使い方説明資料を検討、作成予定、全国大会にて報告予定
- 今後の予定

日 程	分科会
1/29 (木)	第20回会合
3/24 (火)	第21回会合
6/9 (火)	第22回会合
8/	第23回会合
9/	第24回会合
10/15 (木)	全国HMN協議会 第14回総会 *群馬県にて開催

【歴史的建造物ヘリマネ調査シート】							
建築分類	近現代建築	現存	有／無： 解体年（	公開情報	公開／非公開	整理番号	
【調査について】							
調査員氏名		調査日時		シート作成者		シート作成日	
【建築名称】							
ふりがな				途中名称			
現建築名称				竣工時名称			
取り壊し時名称							
【所在地】							
現所在地							
途中所在地							
創建時所在地							
移築・増築・修理							
[所有者や管理者]							
[氏名]							
[会社名]							
[住所・連絡先]							
【用途】							
現在用途	宗教／住宅／学校／文化施設／官公庁舎／商業・事務所／産業／交通・港湾／医療／軍事／水道・電気／不明／その他（						
途中用途	宗教／住宅／学校／文化施設／官公庁舎／商業・事務所／産業／交通・港湾／医療／軍事／水道・電気／不明／その他（						
竣工事用途	宗教／住宅／学校／文化施設／官公庁舎／商業・事務所／産業／交通・港湾／医療／軍事／水道・電気／不明／その他（						
【建築年】							
時代区分		西暦					
起工年月日		上棟年月日		竣工年月日			
年代根拠	棟札／祈祷礼／墨書／刻銘／文献／伝承／様式・技法／聞き取り／その他（						
史料							
【構造様式】							
構造	木造：土蔵造／塗籠（ぬりごめ）／石造／木骨石造／煉瓦造／木骨煉瓦造／鉄骨煉瓦造／鉄筋コンクリート造／鉄骨鉄筋コンクリート造／コンクリートブロック造／鉄筋コンクリートブロック造／鉄骨造／不明／その他（						
階数	平家／（ ）階建／その他（						
屋根形状	切妻／半切妻／寄棟／入母屋／腰折れ／マンサード／方形／片流れ／陸／のこぎり／越し／その他（						
[現屋根葺材]	■瓦葺き：本瓦葺／棧瓦葺／木瓦葺／銅瓦葺／洋瓦／スペイン瓦／S型瓦葺／セメント瓦／石屋根？石葺？						

	■植物屋根（木）：板葺／板葺石置き／厚板葺／檜皮葺／杉皮葺／杉皮石置き／こけら葺／栩葺 ■植物屋根（草）：葦（川 or 水葦・ススキ（山 or 陸葦））／茅葺／藁葺／麦藁 ■スレート屋根：天然スレート葺／セメントスレート葺 ■金属屋根：鉄板葺／銅板葺 ■不明／その他（		
旧屋根葺材	本瓦葺／棧瓦葺／木瓦葺／銅瓦葺／桧皮葺／杉皮葺／杉皮葺石置き／コケラ葺／栩葺／板葺／板葺石置き／草葺（藁・茅など）／厚板葺／銅板葺／鉄板葺／鉄板葺／S 形瓦葺／スペイン瓦葺／セメント瓦葺／天然スレート葺／セメントスレート葺／不明／その他（		
[基礎]	礎石（独立・連続）／延べ石（連続）／コンクリート／煉瓦		
[外壁や 建具]	素材や具体的な意匠など（		
[付属家等] 有り・無し 関連シート／ 有・無	門（長屋門／中門）／塀／倉庫／家畜小屋／蔵（味噌・醤油・文庫・米・道具・その他）／茶室／ 離れ／便所／車庫／社／その他（たばこ乾燥小屋など地方独特なものもある／名称や特徴をわかる 範囲で）／不明（所有者などへの聞き取り結果など／		
[内部]	素材や具体的な意匠など（		
【設計・施工】			
設計		施工	
【文化財】			
重要文化財／史跡／民俗文化財／都道府県指定文化財／市町村指定文化財／登録有形文化財／景観重要建造物／未指定／不明／その他（			
【参考文献等】			
報告書			
参考文献			
関連資料			
【位置】			
Google マップで右クリックして、座標をコピーして、入れる（本殿など、メインの建物が敷地のどの部分にあるか？）			
[聞き取り調査・自由記述]			
[所有者①]	思い入れ／好きな部分（		
[所有者②]	困っていること／課題と思っていること（		
[チェックシート]	■倉方先生の7項目（専門家の視点）⇒市民的な視点／記憶・幸福・愛着 1. 革新的な作品＜革新性＞ ☐ 再現ができない、材料がない ☐ 2. 意匠に優れた作品＜意匠性＞ ☐ 意匠、デザインが優れている		

- ☐特徴的な景観を形成している
- ☐特徴的な地域環境や居住環境を提供している
- ☐構造物としての魅力や迫力がある
- ☐地域景観のランドマークとなっている
- ☐豊かな緑環境を提供している
- ☐

3. 顕著な設計者の展開を示す作品＜作家性＞

- ☐著名な設計者や施工者、職人の関わりがある
- ☐

4. 技術の発展を例示する作品＜技術性＞

- ☐再現が容易でない技術、技能が用いられている
- ☐特徴的な工法、材料が用いられている
- ☐

5. ある時代の建築生産の典型を示す作品＜時代性＞

- ☐建築様式が時代の特徴を伝えている
- ☐特徴的な工法、材料が用いられている
- ☐地域材料を使った建築物である
- ☐地域固有の建築種別の典型例となっている
- ☐

6. 地域的な特色を明らかにする作品＜地域性＞

- ☐建設年代が古い
- ☐時間の経過によって加えられた価値がある
- ☐市街地形成の歴史を物語っている
- ☐地域固有の建築様式でつくられている
- ☐地域固有の素材が活かされている
- ☐まちの成り立ちやくらし文化を物語っている
- ☐産業と地域の発展に寄与している
- ☐地場産業の歴史を伝えている
- ☐地域の歴史と密接に関わっている
- ☐地域や地域の歴史を物語っている
- ☐

7. 親しく利用され続けている作品＜継続性＞

●活用的価値

- ☐文化・コミュニティ施設として活用されている
- ☐商業、飲食施設として転用されている
- ☐住民の憩いの場となっている
- ☐地域ブランドとなっている

- ☐観光名所となっている
- ☐商品開発などに活用されている
- ☐

8. ヘリマネオリジナルの市民的な視点／記憶・幸福・愛着

●思い出価値

- ☐住民の愛着がある
- ☐特別な愛称で親しまれている
- ☐まちづくりや地域活性化のきっかけや拠点となっている
- ☐絵画や写真の題材となっている
- ☐地域のランドマークとして親しまれている
- ☐

【写真】

--	--

【所見】

--

日建連発第5号
令和7年4月1日

都道府県建築士会会長 様

公益社団法人日本建築士会連合会
会 長 古 谷 誠 章
(公印省略)

日本建築学会との平常時及び災害時における歴史的建造物の調査等の 連携協力について

時下ますますご清栄のこととお慶び申し上げます。

日頃は本会の各種事業につき、多大のご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本会では、ヘリテージマネージャーの育成・活用の推進並びに災害時における歴史的建造物の被災状況把握のため、日本建築学会「歴史的建築総目録データベース」(以下、「データベース」という)との連携協力は必要であると考え、去る平成27年8月6日づけで、「平時時及び災害時における歴史的建造物の調査及び情報共有等に関する協力協定書」(以下、「協力協定書」という)を取り交わし、2か年ごとに8月更新しております。

協力協定により、平常時における歴史的建造物の調査や災害時における被災歴史的建造物の調査台帳として利用できるようになりました。

つきましては、「データベース」の利用について、ご検討いただき、歴史的建造物の保全・活用を推進するためにご活用下さいますようお願いいたします。

記

1. 「データベース」について

日本建築学会のホームページより、「データベース」トップページをプリントした書面を同封いたします。ご一読願います。

日本建築学会「データベース」ホームページアドレス
<https://glohb.aij.or.jp/>

2. 「協力協定書」について

平成29年8月6日づけ協定書(写し)及び「協力協定書連携項目(4)に係る申し合わせ事項」「別表【管理・利用区分】」を同封いたします。ご一読願います。

3. 「データベース」の利用について

(利用対象)

日本建築士会連合会および連合会が認めた者(ヘリテージマネージャーにより組織された地域ネットワークが設置されている都道府県の建築士会)

(情報の利用内容)

歴史的建造物の属性や地図上の建物所在位置等の情報の閲覧、加筆修正、また、歴史的建造物の新規項目の記載をすることができる。

(利用のための手続き)

- ① 「データベース」の利用を希望する建築士会は、学会が定める「管理・利用区分」に従い、「管理責任者」等を選任する。なお、「管理責任者」は原則として、実際に管理作業を行うことが可能な1名とするが、建築士会長等を慣例的に選任する場合は複数名とする。
- ② 当該建築士会は、連合会に「データベース」の利用を希望することを連絡し、「管理責任者」に選任された者の氏名を通知する。
- ③ 「管理責任者」に選任された者は、「データベース」より自身で利用申請を行う。
- ④ 連合会は、通知された「管理責任者」からの利用申請が確認でき次第、承認してパスワードを発行すると同時に、承認した「管理責任者」を「地区連絡員」に登録する。登録方法は、「データベース」内の「管理者マニュアル」に従う。並び順は、都道府県のJISコード+1桁の数字を入力する。これらの作業は連合会が行うことを原則とするが、必要に応じて学会が支援する。
- ⑤ 「管理責任者」は、当該建築士会の他の利用者について、各自利用申請を行わせる上で、「パワーユーザー」「ユーザー」の承認作業、パスワードの発行を行う。

4. 「データベース」の活用状況

近現代建造物緊急重点調査(建築)が、平成27年度より、また、熊本地震被災文化財建造物復旧支援事業が、平成28年度より、実施されたことを受けて、事業の遂行に係る建築士会会員が、暫定的に「管理責任者」及び「パワーユーザー」「ユーザー」と認証され、調査対象の歴史的建造物の情報入力や地震被害の被災状況把握等に活用されています。

「データベース」が利用されている建築士会

山形県、福島県、茨城県、群馬県、神奈川県、新潟県、静岡県、愛知県、三重県、富山県、石川県、福井県、奈良県、岡山県、広島県、香川県、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、沖縄県、

(添付資料)

- ・日本建築学会歴史的建築総目録データベース運用ルール遵守のお願い(案)
- ・近現代建造物緊急重点調査事業(建築)における日本建築学会歴史的建築総目録データベース利用時の要望
- ・平常時及び非常時における歴史的建造物の調査及び情報共有等に関する協力協定書(写し)

(問い合わせ先)

(公社)日本建築士会連合会 事業部 榎本、竹田
〒108-0014 東京都港区芝5-26-20 建築会館5階
電話 03-3456-2061 F A X 03-3456-2067
メールアドレス chiiki@kenchikushikai.or.jp

以上

至る国道50号線

市営真壁高上町駐車場

桜川市役所
真壁庁舎

県立真壁高等学校

ヘリマネネットワーク
会議会場

主要
地方道

つくば
益子
線

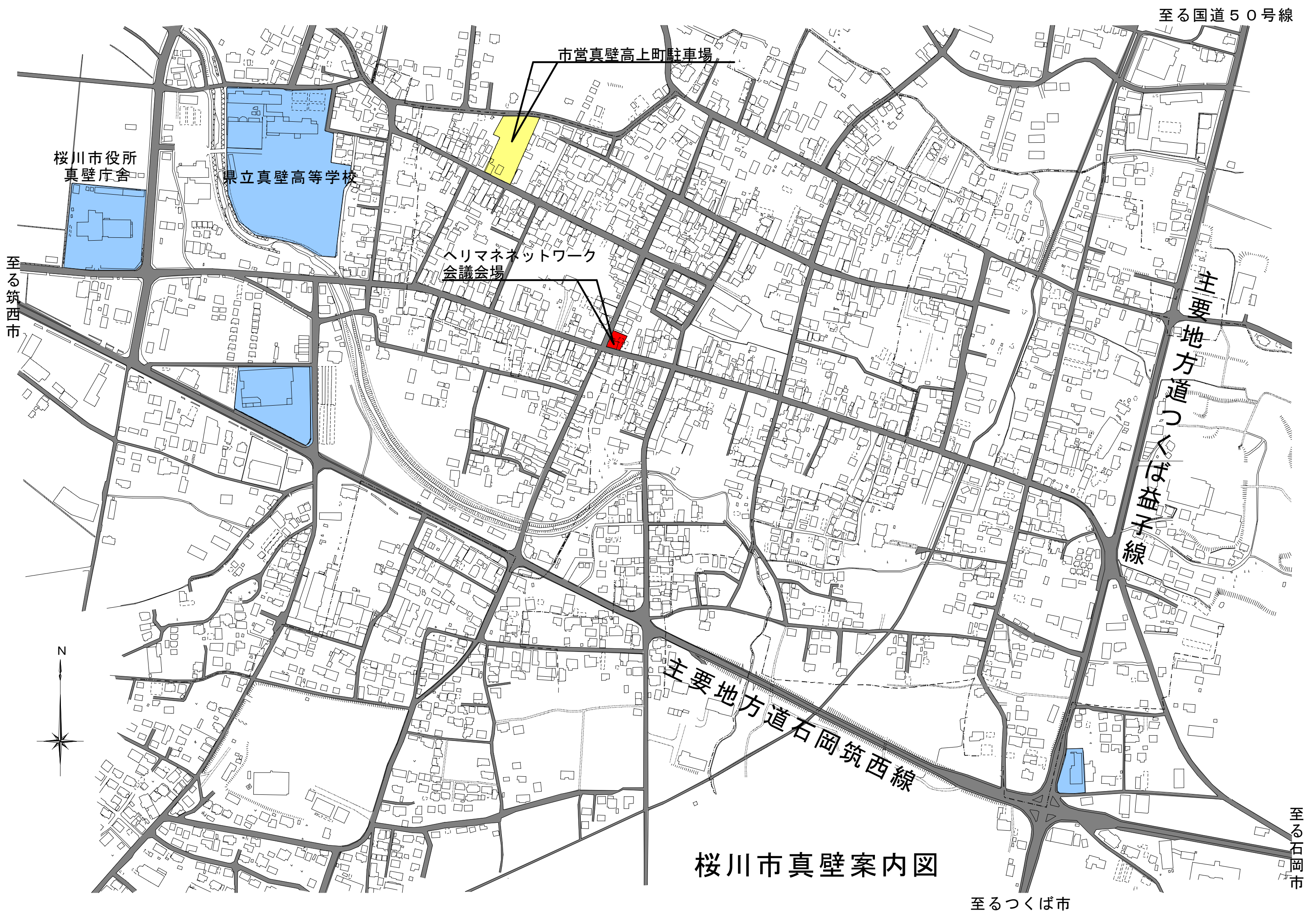
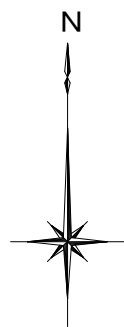
主要地方道石岡筑西線

桜川市真壁案内図

至るつくば市

至る石岡市

至る筑西市





- 1 谷口家住宅
真壁の近代を支えた谷口製糸所建物群と旧家住宅建物
- 2 大森家住宅
大正初期の面影を残している建物群
- 3 谷口義衛家住宅
明治中期の珍しい住宅建築
- 4 増淵有市家住宅
大工増淵市太郎が自ら建設した貴重な建物群
- 5 橋本旅館
典型的な昭和初期の旅館建築
- 6 桜井家住宅
古式を保ち、造りの良さが特徴の建物群
- 7 佐藤家住宅
堂々たる風格と細部の意匠に古式を留める本格的な薬医門
- 8 増淵家住宅
棟札により建設時期が特定できる明治初期の建物群
- 9 中村家住宅
江戸時代末期の貴重な建物群
- 10 関根家住宅
明治初期の典型的な関東の町屋
- 11 中村家住宅
伝統的な町並み景観を残す新宿通りの貴重な建物
- 49 安達家住宅
江戸時代末期の見世蔵と座敷と門
- 12 西岡家住宅
明治中期頃の面影を残す貴重な建物群
- 13 旧樺穂小学校校舎
明治期の小学校校舎
- 14 出川家住宅
昭和初期の特徴をよく現している建物群
- 15 鈴木醸造
玄関を設けた本格的な江戸末期の農家住宅
- 16 谷田部家住宅
江戸期の家の格式を示す真壁を代表する長屋門

おすすめ散策コース

御陣屋1周コース

休み休み歩いて70分

- 高上町駐車場から東へ
- 御陣屋前の信号を右へ
- 26潮田家の角を左へ
- 18猪瀬家の角を左へ
- 5橋本旅館前を左へ
- 11中村家の角を左へ
- 御陣屋前の信号を右で戻る

- ①～③桜井コース (+20分)
- ⑫～⑬古城コース (+20分)
- ⑪～⑫飯塚コース (+20分)
- ⑪～⑫田村コース (+40分)



- 17 鈴木家住宅
明治期に建築された典型的な薬医門
- 18 猪瀬家住宅
真壁で最も大きく造りも良い薬医門
- 19 塚本家住宅
大正期に建設された土蔵造り建物群
- 20 根本医院
真壁で最古を示す文政期の高麗門
- 21 土生都家住宅
根本医院と対を示す明治期の高麗門
- 22 村井醸造
17世紀以来の歴史を誇る造り酒屋
- 23 伊勢屋旅館
明治期の伝統的な町屋建築と土蔵
- 24 高久家住宅
典型的な関東の町屋
- 26 潮田家住宅
間口が大きく開いた元呉服太物商鶴屋
- 27 密弘寺不動堂
貴重な江戸後期の仏堂
- 28 塚本茶舗
明治中期の小規模ながら本格的な土蔵
- 29 木村家住宅
天保大火後、真壁で最初期の見世蔵
- 30 入江家住宅
背の高い意匠を凝らした大正建築
- 31 旧真壁郵便局
戦前・戦後を通じてランドマークとして親しまれた近代建築
- 32 川島書店
典型的な江戸型の見世蔵
- 33 川島洋品店
江戸末期頃の建築の土蔵
- 34 山中家住宅
古式を留める長屋門と本格的な土蔵
- 35 三輪家住宅
典型的な大正初期の建物群
- 36 星野家住宅
端正な書院造風屋を持つ伝統町屋
- 37 村上家住宅
明治後期の貴重な建物群
- 38 市塚一家住宅
店舗の南側に養蚕場をもつ曲屋建物
- 39 平井家住宅
伝統的町屋形式の明治中期の建物群
- 40 土谷家住宅
海鼠壁と軒が特徴的なお助け蔵
- 41 小林商店
関東の町屋形式を継承する昭和初期の店舗
- 42 細谷家住宅
本格的な長屋門と江戸時代の農家風の造りを残す明治末期の住宅建築
- 43 市塚一家住宅
海風(なまこ)壁を用いた年代が判る唯一の長屋門
- 44 市塚政一家住宅
比較的大規模で保存状態の良い長屋門
- 45 市塚昌宏家住宅
古式を留める貴重な薬医門
- 46 北岡家住宅
創建当初の状態で使用されている昭和初期の町屋形式の建物
- 47 西岡本店
明治初期に建設された醸造場
- 48 小田部醸造
梵鐘や半鐘・天水鉢などの伝統工芸の拠点施設

桜川市真壁への交通

電車・バス・タクシーでお越しの方

東京・宇都宮方面より(宇都宮線)

宇都宮線・小山駅 → 水戸線・岩瀬駅 → 桜川市バスで20分

いわき方面より(常磐線)

常磐線・友部駅 → 水戸線・岩瀬駅 → 桜川市バスで20分

東京方面より(つくばエクスプレス線)

つくばエクスプレス・つくば駅 → つくばセンター「つくば北部シャトル」 → 筑波山口下車(50分) → 桜川市バスへ乗り継ぎ(20分)

お車でお越しの方

東京方面(三郷IC)

常磐自動車道・土浦北IC → 国道125号線 → 県道14号線 → 県道41号線 → 真壁

宇都宮方面(宇都宮上三川IC)

北関東自動車道・桜川筑西IC → 国道50号線 → 県道41号線 → 真壁

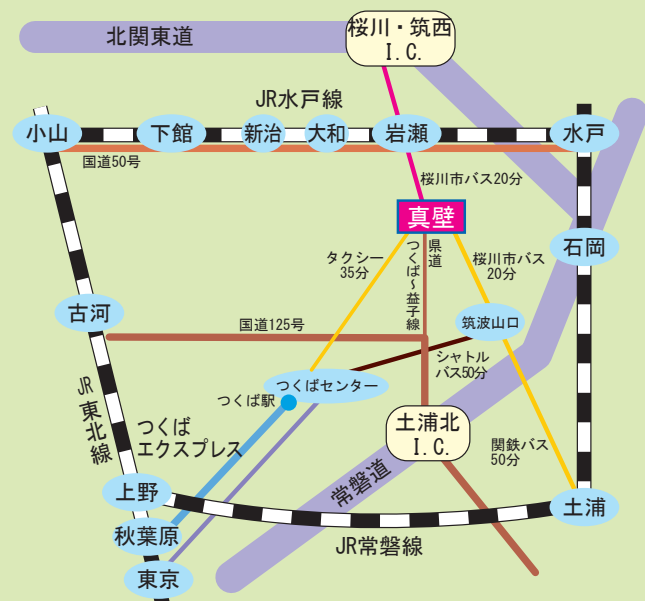
いわき方面(いわき中央IC)

常磐自動車道・友部IC → 北関東自動車道・桜川筑西IC → 国道50号線 → 県道41号線 → 真壁

※バスの情報はこちら → <http://www.city.sakuragawa.lg.jp/>

詳しくは桜川市役所までお問合せください。

〒309-1293 茨城県桜川市羽田1023番地 TEL:0296-58-5111(代) FAX:0296-58-5115





真壁の登録文化財

茨城県

登録文化財とは……。

建築後50年を経過した住宅や蔵のほか、煙突・橋など幅広い建造物について保存及び活用を進めるため、平成8年に文化財保護法の改正によって登録文化財制度が成立しました。この制度により国の文化財登録原簿に登録されたものが、国の登録有形文化財。いわゆる「登録文化財」です。指定文化財と異なり、緩やかな規制で文化財を自由に活用できることが特徴です。



1 谷口家住宅 ・店舗・北袖蔵・南袖蔵・門 ・主屋・離れ・石蔵 〔江戸末期～大正期〕 真壁の近代化を支えた谷口製糸所と経営者住居の建物群。筑波山を背景に土蔵や門が連続する景観は真壁でも特に美しい。	2 大森家住宅 ・主屋・長屋門〔大正初期〕 ・石蔵〔大正6年〕 製糸業の創業で建築された主屋につなぎ、小部屋を付けた変則の長屋門が特徴。石蔵は火災を受けて土蔵を改造したもの。	3 谷口義衛家住宅 ・長屋門及び主屋〔明治初期〕 ・土蔵〔江戸末期〕 長屋門は明治中期に移築した際、土間を手前に張り出し、奥に帳場を設けて店舗とし、住居部分も増築した、特徴的な外観である。	4 増淵有市家住宅 ・表門〔昭和初期〕 ・土蔵〔昭和初期〕 大工棟梁として数多くの伝統建築を手掛けた家。表門は、棟門・薬医門・腕木門を折衷した独特のつくりの特徴がある。	5 橋本旅館 ・主屋〔昭和4年〕 ・土蔵〔明治期〕 幕末に旅館を開業、明治・大正期の建物も現在の意匠とよく似ている。震災後に居間・応接室を改装し、カフェを併設した。	6 桜井家住宅 ・店舗・主屋・西蔵・新蔵 〔明治初期～大正時代〕 平屋店舗に2階を増築し、西壁は土蔵造りで火災に備える。西蔵と新蔵はともに2階建の土蔵で、外壁を下見板張で覆っている。	7 佐藤家住宅 ・表門〔明治初期〕 真壁に多い典型的な薬医門。親柱と梁には、節隠しとして埋木細工が施されており、松竹梅の図案が用いられている。	8 増淵家住宅 ・店舗・主屋・長屋門 〔明治6年〕 店舗の脇に門扉を付け、小部屋をつないで出桁造の屋根を掛けた変形の長屋門は、梁の節隠しに水鳥の埋木細工が施されている。
9 中村家住宅 ・主屋〔明治初期〕 ・文庫蔵・薬医門及び塀 〔明治期〕 木綿取引で江戸時代の真壁を牽引した中村家の建物群で、塀と薬医門に囲まれた敷地には式台を設けた座敷や重厚な土蔵が残る。	10 関根家住宅 ・店舗〔明治8年〕 ・主屋〔明治8年〕 通り沿いに2階建ての店舗、奥に平屋の住居をつなげた明治初期の典型的な関東の町屋。奥に作業場を設けた下駄屋であった。	11 中村家住宅 ・見世蔵〔大正2年〕 ・主屋〔大正2年〕 見世蔵の奥に4室の住居が続き、帳場や座敷境には差鴨居が用いられている。真壁の本格的な見世蔵としては最も新しい建物である。	12 西岡家住宅 ・店舗・主屋・土蔵 〔明治中期〕 通りから少し奥に入って門柱を設ける。酒造蔵として建設され、明治後期からは味噌、醤油の醸造と西岡本店の酒販に使われた。	13 旧樟穂小学校校舎 ・旧樟穂小学校校舎 〔明治中期〕 昭和20年代に廃止された校舎を現在地に移築、和洋裁学院、現在は仏像の修理工房として利用。鬼瓦に「學」の字を刻む。	14 出川家住宅 ・主屋〔昭和12年〕 ・石蔵〔昭和12年〕 2階建て店舗の奥に住居。真壁の町屋には珍しく、下屋庇を持たず出桁造の小庇を設ける。石蔵は地元の御影石で造られる。	15 鈴木醸造 ・主屋〔嘉永7年(1854)〕 ・長屋門〔明治初期〕 入母屋造の玄関を張り出した主屋に、出桁造の目立つ長屋門が、上層農家の格式を伝える。醤油醸造業は大正14年に開始された。	16 谷田部家住宅 ・長屋門〔江戸末期〕 真壁に現存する長屋門で最も本格的かつ古式を伝える。一間おきに小さな武者窓を開き、正面左は座敷、右は板敷の物置である。
17 鈴木家住宅 ・表門〔明治後期〕 真壁に数多く残る薬医門の典型。前面のみ軒を出桁造とし、軒天井を貼り、両脇に袖塀を伸ばして、右側には小さな潜り戸を設ける。	18 猪瀬家住宅 ・薬医門〔明治初期〕 真壁で最も大きな薬医門。装飾は少ないながら、虹梁や木鼻の線型や絵様、棟束両側の笈型などに精巧な彫刻が施されている。	19 塚本家住宅 ・見世蔵〔大正中期〕 ・住居〔大正13年〕 ・土蔵〔明治41〕・門〔明治40〕 昭和初期まで営業した酒造蔵と店舗など一連の建物群で、主屋は土蔵造に鉢巻、腰を石組にした防火建築。門は裏門を移築したもの。	20 根本医院 ・門〔高麗門〕 〔文政11年(1828)〕 歴代の医者の家。門は天保の大火よりも古く、真壁の町並みで最古。解体修理時に、言い伝えどおり文政年間の墨書が確認された。	21 土生都家住宅 ・主屋〔昭和初期〕 ・門〔高麗門〕〔明治時代〕 伝統的な和風住宅でありながら、2階の軒裏は洋風を意識した水平の板張りが入る。高麗門は本家にあたる根本医院の門と対を成す。	22 村井醸造 ・店舗・脇蔵〔明治時代〕 ・石蔵〔大正期〕 ・煙突〔昭和初期〕 北関東に最も早く江戸中期に進出した近江商人による酒蔵の建物群。通りの北側の石蔵は大谷石で、小屋組みはキングボストラス。	23 伊勢屋旅館 ・主屋〔明治中期〕 ・土蔵〔明治中期〕 真壁でも最も名の知られた料亭「勢州楼」から、現在の旅館業へと転換。西側の外壁のみ土蔵造とし、防火に配慮している。	24 高久家住宅 ・店舗〔明治時代〕 塗屋造の店舗兼住宅で、肥料商を営んだ。東日本大震災後に全面的な復原修理を行い、当初に近い形で公開されている。
26 潮田家住宅 ・見世蔵・袖蔵〔明治末期〕 ・脇蔵〔明治時代〕 ・別荘〔離れ〕〔明治初期〕 呉服太物商の建物群。正面入口は真壁で最も広い8間の全面開放で、長大な1本の梁材に圧倒される。袖蔵の入口は主屋に開く。	27 密弘寺不動堂 ・不動堂〔天保11年(1840)〕 大火後に再建された不動堂で、向拝や軒廻りに豊富な彫刻が施され、各面の簷股には方角に因んだ十二支が透かし彫りにされている。	28 塚本茶舗 ・脇蔵〔明治中期〕 呉服商の文庫蔵として建設されたもの。南側には観音開きの防火扉と土庇、通り側2階にも土蔵造りの防火戸を付けた本格的な土蔵。	29 木村家住宅 ・見世蔵・主屋〔江戸末期〕 ・門〔江戸末期〕 正面の見世蔵に、繰2階の土蔵造の住居が接続する。関東大震災後、下屋庇が改修されているが、揚げ戸を備えた江戸時代の見世蔵。	30 入江家住宅 ・主屋〔大正15年〕 住居として建設されたもので、軒が高く、むくりのある小庇や、軒反りを持つ屋根、左右で異なる墨木の意匠など、特徴が多い。	31 旧真壁郵便局 ・旧真壁郵便局〔昭和2年〕 五十銀行真壁支店として建設。戦後は中央吹き抜け部に床を張り真壁郵便局として使用。木造にモルタル洗い出しで洋風に仕上げる。	32 川島書店 ・見世蔵〔江戸末期〕 生薬商の店舗として建設されたと伝える見世蔵で、かつて住居に接続していた奥の出入口には漆喰塗りの防火引戸が残されている。	33 川島洋品店 ・土蔵〔江戸末期〕 軒の形式が、一般の土蔵のような鉢巻を持たず、北の妻側は母屋を現し、東の平側には垂木にあわせて波型に塗り籠めているのが特徴。
34 山中家住宅 ・長屋門〔明治初期〕 ・土蔵〔明治中期〕 長屋門は出桁造で、正面左右には小さな武者窓が開く。土蔵は戸口周りと腰のみ黒漆喰仕上げで、鉢巻は付けず垂木を漆喰で包む。	35 三輪家住宅 ・見世蔵〔大正初期〕 ・主屋〔大正初期〕 見世蔵の奥に主屋が接続する。1階の軒は木部を出すが、2階は出桁造に軒蛇腹、箱棟と影盛、と江戸東京の見世蔵を踏襲。	36 星野家住宅 ・店舗及び主屋〔明治中期〕 少し低い2階を付けた、つし2階建ての店舗の奥に平屋の主屋が接続する。乾物商「諸川屋」の屋号がショーケースの台座に見える。	37 村上家住宅 ・主屋・土蔵〔明治35年頃〕 ・離れ〔昭和初期〕 ・表門〔明治初期〕 材木商の建物群で、平屋に下屋庇を設けた店舗の奥に住居と離れが接続する。表門の形式は薬医門で、近隣の商家から移築したもの。	38 市塚紀夫家住宅 ・店舗及び主屋〔明治初期〕 寄棟平屋の店舗に、住居をL字型に接続させている。正面左側はかつての養蚕所であり、煙出しの小屋根は当時の名残である。	39 平井家住宅 ・店舗及び主屋〔明治中期〕 ・土蔵〔明治26年(1893)〕 米穀商の建物群で、店舗2階は戸袋を残し全面に出格子を設ける。昭和には精肉店で、腕木に「安くおいしくめし上げ」とある。	40 土谷家住宅 ・土蔵〔江戸末期〕 軒は鉢巻とせす母屋や垂木を出して黒漆喰で仕上げる。台風後の「お助け蔵」と伝え、重厚な海鼠壁など最も優れた造りの土蔵。	41 小林商店 ・店舗〔昭和3年〕 ・米蔵〔明治中期〕 平屋の店舗の奥に住居をつなぎ、寄棟の屋根で一体化させる。対して米蔵は間仕切り壁を設けるなど、機能の差がよく表れている。
42 細谷家住宅 ・主屋〔明治後期〕 ・長屋門〔明治初期〕 主屋は農家風の造りを留めながらも、土間を設けず、材質や細部の意匠に優れている。長屋門は真壁でも大規模で本格的である。	43 市塚章一家住宅 ・長屋門〔明治32年〕 真壁に残る長屋門の中でも海鼠壁を用いた唯一のもので、線形や舟肘木、金物の装飾など、細部まで意匠が凝らされている。	44 市塚政一家住宅 ・長屋門〔明治初期〕 大型の長屋門で、軒の出桁は、門扉部分では三重となっている。正面左は穀物蔵で、軒先に俵が吊されるのは米検査所の遺構を示す。	45 市塚昌宏家住宅 ・表門〔江戸末期〕 薬医門で、軒を出桁造とし、扉を兆番で吊らず、冠木に取り付けた軸受け(龕座)を用いる点が特徴で、真壁ではあまり例がない。	46 北岡家住宅 ・店舗及び主屋〔昭和6年〕 穀物・肥料商の町屋で、北面以外はほぼ全面開放となる。トタン張りの戸袋を含め、内外装や建具まで当初の状態を残す。	47 西岡本店 ・店舗・脇蔵〔明治初期〕 ・土蔵〔明治初期〕 酒蔵の建物群で、店舗は現在も事務所として使用。直交する脇蔵(白米蔵)と米蔵(玄米蔵)は、展示場として活用している。	48 小田部鍛造 ・主屋〔江戸末期〕 ・北土蔵・南土蔵〔明治前期〕 ・門〔明治後期〕 梵鐘も製造する鋳物師の建物群。主屋は農家型の造りで、広い土間を配置する。南土蔵は真壁では類例のない置き屋根の形式を持つ。	49 安達家住宅 ・見世蔵及び主屋・座敷・門〔江戸末期〕 江戸期の本格的な見世蔵で住居まで一体的な土蔵造とする。門は通り面のみ本瓦葺きで、座敷は式台玄関を持つ書院造と格式が高い。